

令和5年度

ICT活用による子どもの体力向上事業

(めっちゃ MORI MORI スポーツテスト)

報 告 書

令和6年3月

大阪府教育庁

ICT活用による子どもの体力向上事業（めっちゃ MORIMORI スポーツテスト）における調査結果の概要

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力・運動能力等の状況に鑑み、大阪府の子どもの体力・運動能力及び運動・生活習慣等の実態を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 市町村教育委員会、小学校等が自らの子どもの体力・運動能力の向上に係る施策や取組みの成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、子どもの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 小学校等が子ども一人ひとりの体力・運動能力や運動・生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査の対象及び調査内容

(1) 児童

① 調査対象者

府内小学校等の小学3・4年生全員

ただし、支援学級に在籍している児童については、その障がいの状態等を考慮して、参加の是非を適切に判断すること。

② 調査内容

ア. 実技に関する調査（測定方法等については、新体力テストと同様。以下「実技調査」という。）

〈テスト項目〉

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ. 生活習慣等に関する調査(以下「質問調査」という。)

(2) 学校

① 調査対象校

府内小学校等

② 調査内容

体力づくり推進計画（アクションプラン）（体力向上に係る学校の取組み等）

3. 調査実施期間

(1) 児童

令和5年4月～7月

※詳細のスケジュールについては、5ページのフロー図を参照

(2) 学校

体力づくり推進計画策定期間

- ア. 令和5年5月末までの期間に、前年度までにおける児童の体力・運動能力や運動・生活習慣等の状況から、学校における体育・健康等に関する指導の計画を策定する。
(アクションプラン①)
- イ. 調査結果確定から8月末までの期間に、調査結果を踏まえて見直し等を行った上記計画を策定する。(アクションプラン②)

4. 調査の実施状況

	学校数	学年	児 童 数
R5大阪府	小学校 969校	3年生	64,593人 (男子33,037人 女子31,556人)
		4年生	64,676人 (男子33,073人 女子31,603人)

(比較対象)

	学校数	学年	児 童 数
R4全国 (抽出)	小学校	3年生	1,824人 (男子938人 女子886人)
		4年生	1,931人 (男子970人 女子961人)

※R5年度の全国数値はR6年10月頃、スポーツ庁より発表予定

	学校数	学年	児 童 数
R4大阪府 (本事業モデル実施)	小学校 166校	3年生	8,859人 (男子4,458人 女子4,401人)
		4年生	11,097人 (男子5,616人 女子5,481人)

5. 調査結果に関する注意事項と説明

「報告書」の小学3・4年生の数値について、全国の数値は毎年10月頃スポーツ庁から公表される「体力・運動能力調査報告書」(抽出調査)の同年齢児童の数値を使用している。大阪府の数値は、令和1～2年度は大阪府の「体力・運動能力調査(抽出調査)」の数値を、令和3～4年度は本事業モデル実施校の数値を用いており、令和5年度は本事業(政令市を含む悉皆調査)の数値を用いている。

なお、小学5年生の数値については「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の数値を使用している。

- ①本調査の集計・分析において、実技調査、児童質問調査の回答の精査を行い、一部のデータ(実技調査の上限値・下限値からはみ出たデータなど)は集計・分析の対象外としている。

- ②本調査の結果においては、平均値が必ずしも調査結果の全てを表すものではなく、総合的に結果を分析し、評価することが必要である。
- ③実技調査と児童質問調査のクロス集計に関しては、必ずしも因果関係を示したものではないことに留意する必要がある。
- ④「報告書」に記載している数値は、元の数値を四捨五入して示している。
小数第2位で示している数値→元の数値の小数第3位を四捨五入
小数第1位で示している数値→元の数値の小数第2位を四捨五入
- ⑤集計結果における百分率は、元の数値を四捨五入して示している。
小数第1位で示している数値→元の数値の小数第2位を四捨五入
そのため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- ⑥クロス集計については、アンケート項目ごとに、3・4年生男女統一での分析を行っている。

令和5年度めっちゃ MORIMORI スポーツテストについて（概要）

【大阪府の調査結果】

[80点満点]

小学校3年		種目別平均								体力 合計点
		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	
		kg	回	cm	点	回	秒	cm	m	
男子	R5大阪府	11.96	15.22	29.73	30.99	30.23	10.34	131.73	13.78	40.68
	R4全国	12.46	16.05	29.91	34.64	35.17	10.13	136.59	14.98	43.41
	R4大阪府	11.97	15.46	29.75	31.86	30.89	10.35	132.15	13.66	40.90
女子	R5大阪府	11.33	14.50	33.01	29.49	22.84	10.69	123.41	8.97	40.95
	R4全国	11.76	15.70	33.08	33.34	27.77	10.42	128.26	9.33	44.20
	R4大阪府	11.20	14.97	32.83	30.88	23.93	10.65	124.57	8.84	41.57

[80点満点]

小学校4年		種目別平均								体力 合計点
		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	
		kg	回	cm	点	回	秒	cm	m	
男子	R5大阪府	13.81	17.08	31.60	34.72	37.37	9.87	140.44	16.92	46.12
	R4全国	14.31	17.96	31.97	38.30	42.79	9.70	145.25	18.17	48.98
	R4大阪府	13.75	17.08	31.58	35.83	37.80	9.98	141.29	16.86	46.24
女子	R5大阪府	13.21	16.13	35.38	32.86	28.23	10.19	132.86	10.76	46.77
	R4全国	13.88	17.27	35.68	36.89	33.98	10.00	137.98	11.53	50.06
	R4大阪府	13.24	16.48	35.27	34.46	29.58	10.17	134.34	10.80	47.51

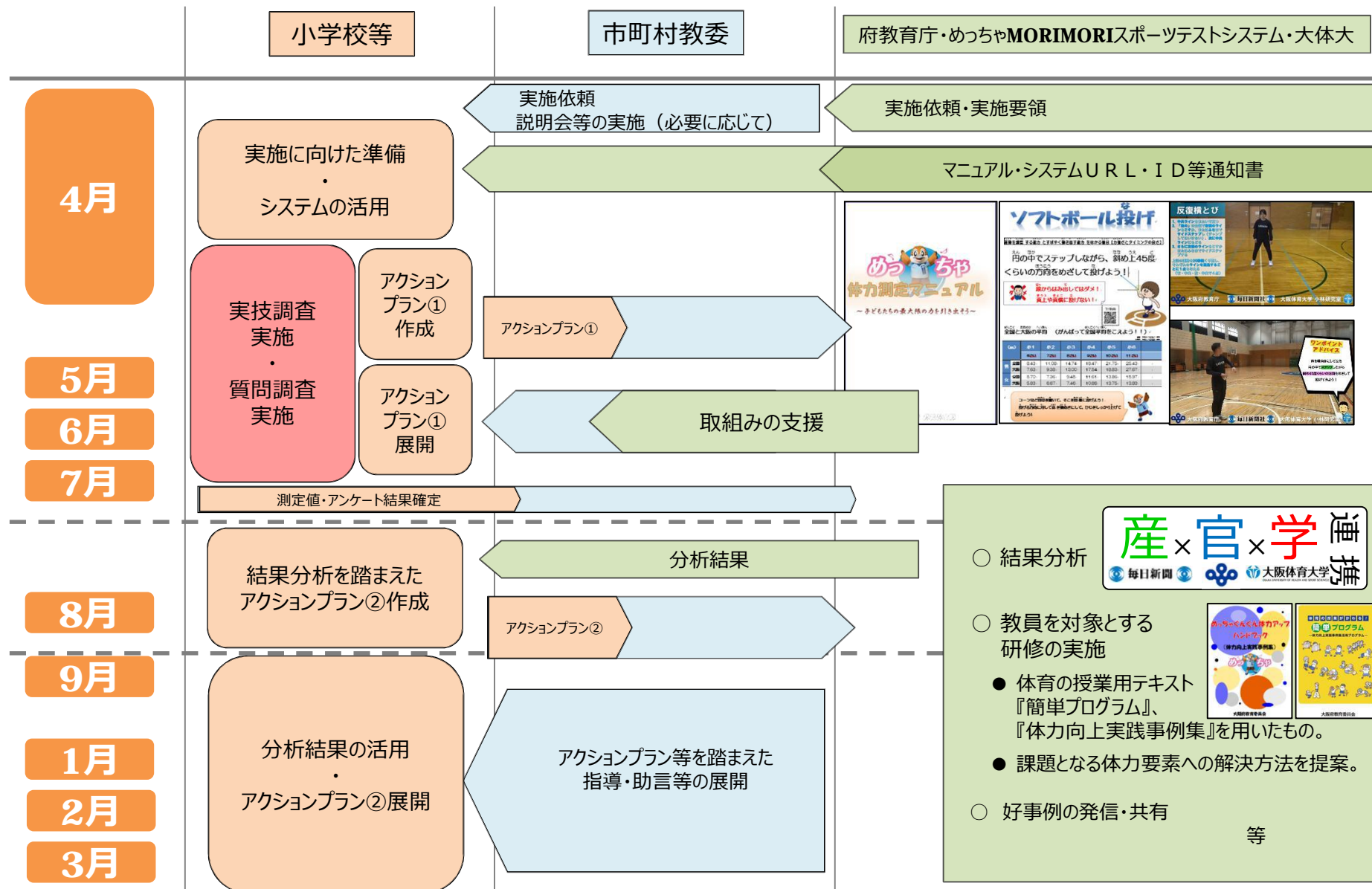
○印：R4と比べて改善 ■印：昨年と同値

- ◆ 大阪府において、体力合計点は小学3・4年生、男女ともに令和4年度より低下した。
- ◆ 「反復横とび」・「20mシャトルラン」・「立ち幅とび」において、全国との差が大きい。また、大阪府の令和4年度と令和5年度を比較しても、この3種目の記録は低下している。
- ◆ 小学3年生においては男子で2種目、女子で3種目、小学4年生においては男子で4種目、女子で1種目令和4年度より記録が向上した。
- ◆ 「運動やスポーツをすることが好き・やや好き」と回答した児童は、4年生より3年生の方が多く、女子よりも男子の方が多かった。

[3年男子 94.5%・3年女子 90.7%・4年男子 93.6%・4年女子 86.6%]



【令和5年度 ICT活用による子どもの体力向上事業（小学3・4年生スポーツテスト）】 スケジュール



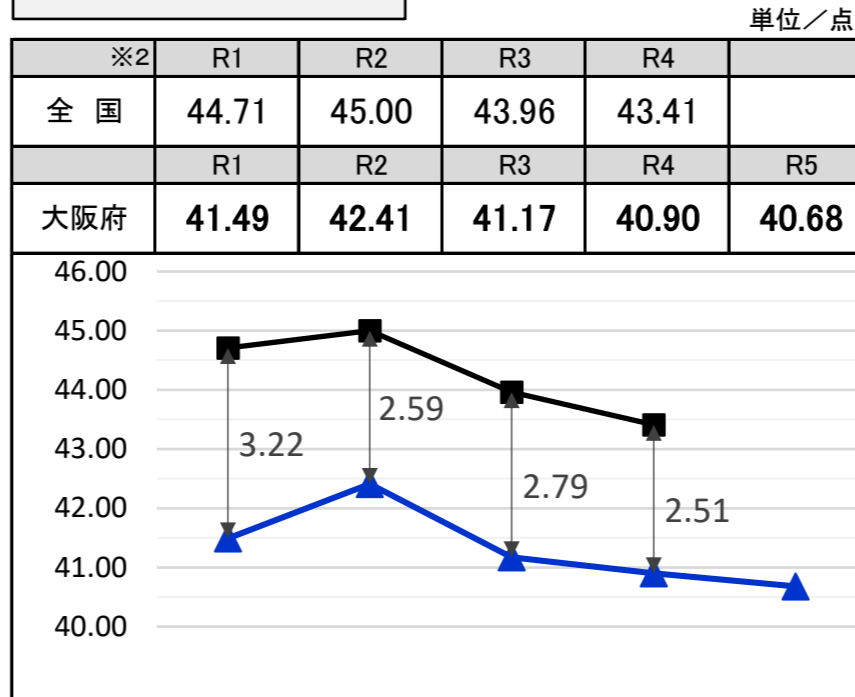
令和5年度 大阪府の実技に関する調査結果と推移 - 公立学校 -

小学校3年生 男子 (政令市を含む)

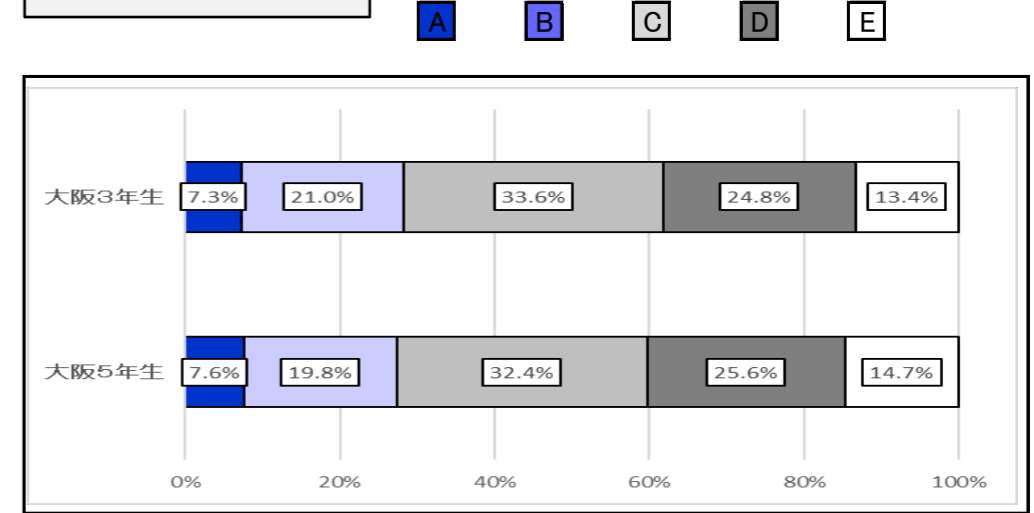
全国—大阪府 (全国平均値と大阪府との比較について)

※1 体力合計点:各種目10点満点とし、8種目を合計した得点。
 ※2 全国の数値は「体力・運動能力調査(抽出調査)」の数値を用いており、この数値は毎年10月頃スポーツ庁より前年度の数値が公表されるため、今年度の数値は記載していない。
 大阪府の数値は令和5年度はめっちゃMORIMORIスポーツテスト(悉皆調査)の数値を用いている。令和1~2年度は大阪府の「体力・運動能力調査(抽出調査)」の数値。令和3~4年度はモデル実施校の数値を用いている。
 ※3 総合評価は体力合計点を5段階で評定。
 3年生は
 A:53点以上 B:46~52点 C:39~45点 D:32~38点 E:31点以下
 大阪府の5年生の数値は、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の数値を用いている。

体力合計点 ※1

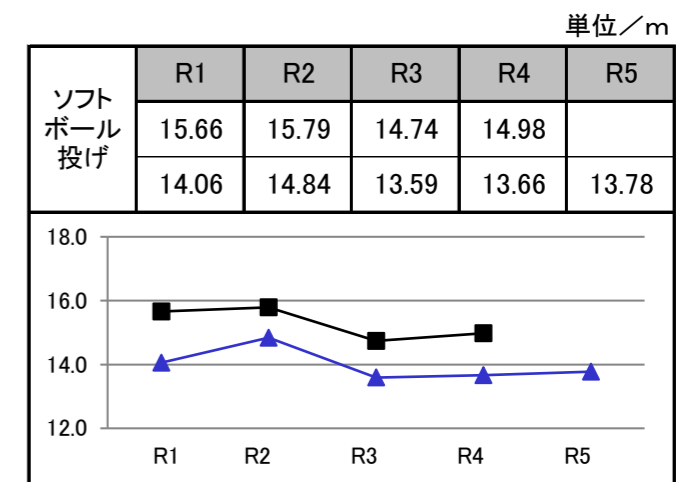
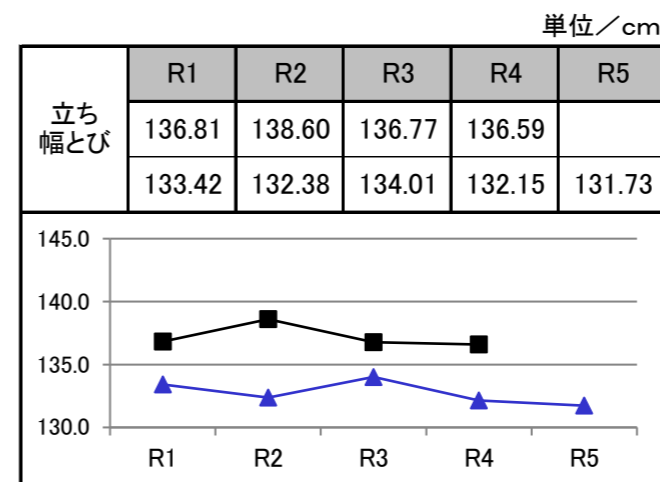
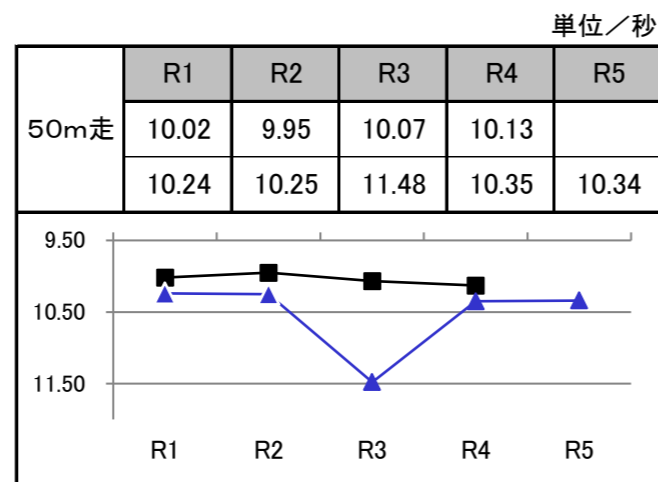
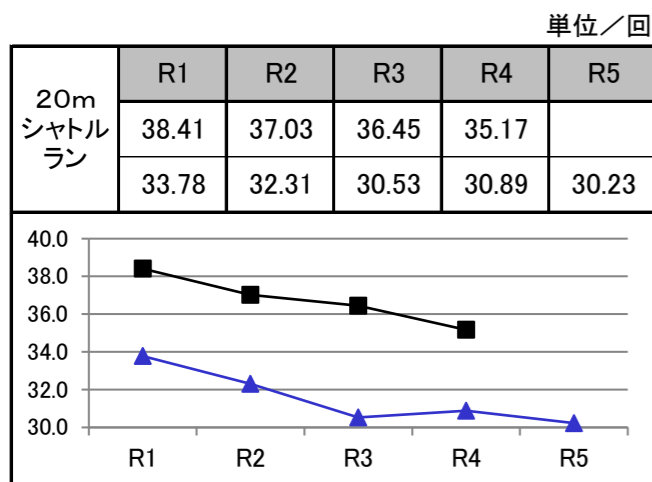
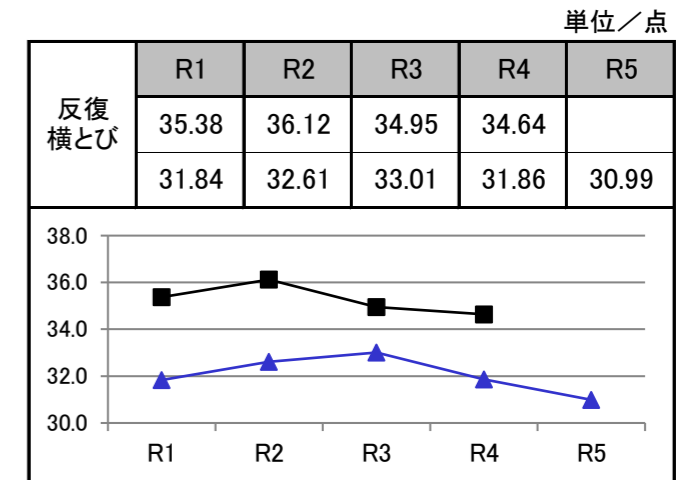
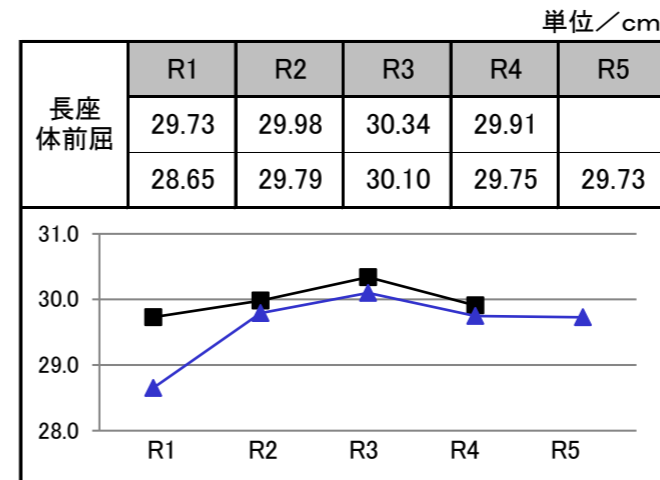
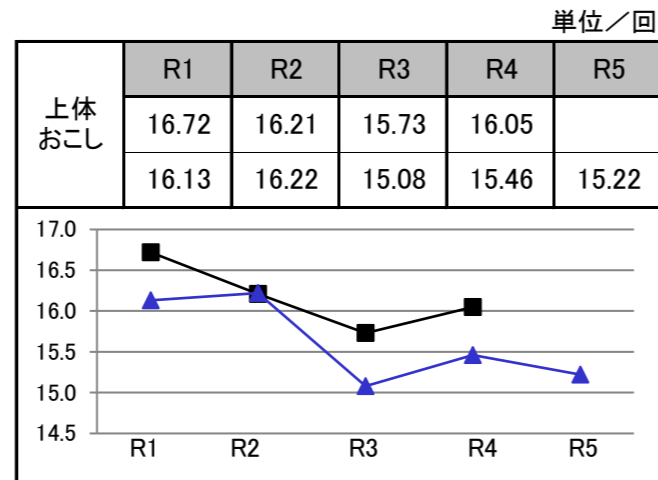
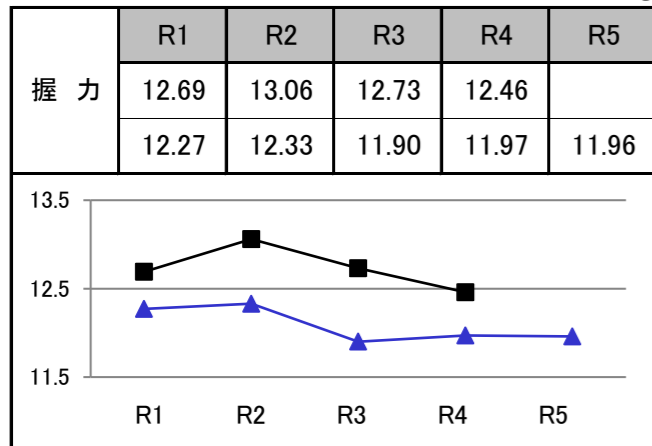


総合評価 ※3



各種目の状況

※ 上段: 全国
下段: 大阪府
単位/kg



令和5年度 大阪府の実技に関する調査結果と推移 - 公立学校 -

小学校3年生 女子 (政令市を含む)

全国—大阪府 (全国平均値と大阪府との比較について)

※1 体力合計点:各種目10点満点とし、8種目を合計した得点。

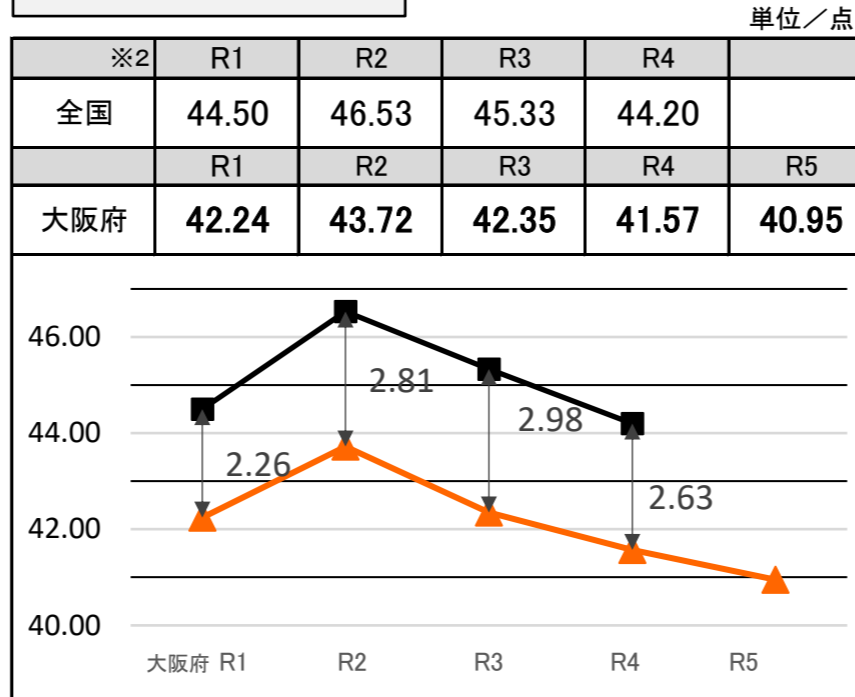
※2 全国の数値は「体力・運動能力調査(抽出調査)」の数値を用いており、この数値は毎年10月頃スポーツ庁より前年度の数値が公表されるため、今年度の数値は記載していない。

大阪府の数値は令和5年度はめっちゃMORIMORIスポーツテスト(悉皆調査)の数値を用いている。令和1~2年度は大阪府の「体力・運動能力調査(抽出調査)」の数値。令和3~4年度はモデル実施校の数値を用いている。

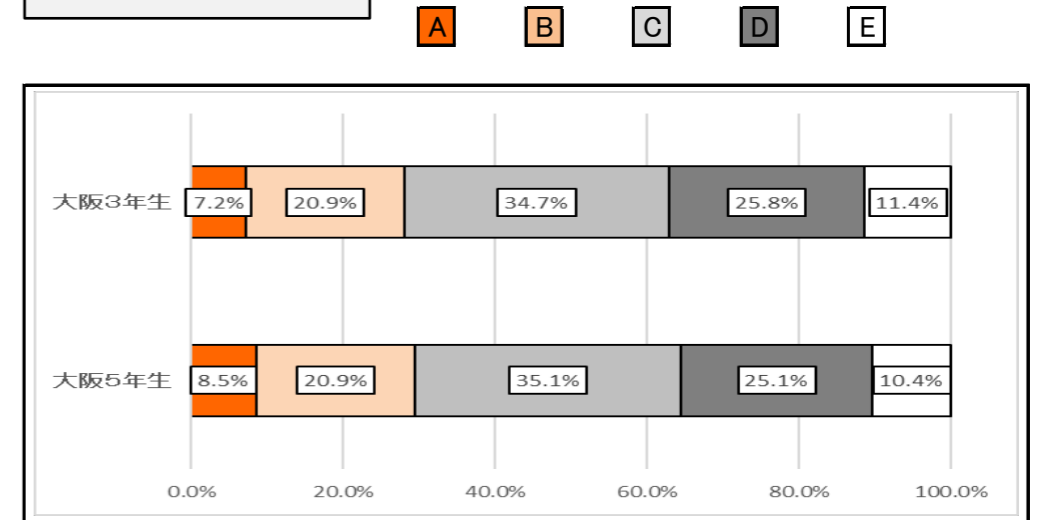
※3 総合評価は体力合計点を5段階で評定。
3年生は
A:53点以上 B:46~52点 C:39~45点 D:32~38点 E:31点以下

大阪府の5年生の数値は、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の数値を用いている。

体力合計点 ※1

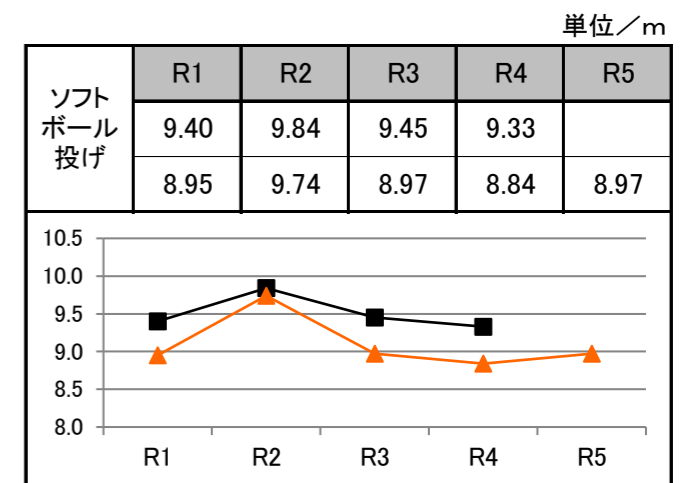
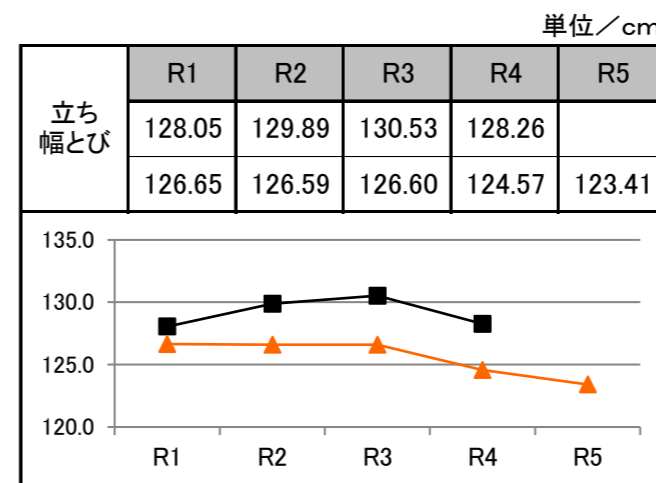
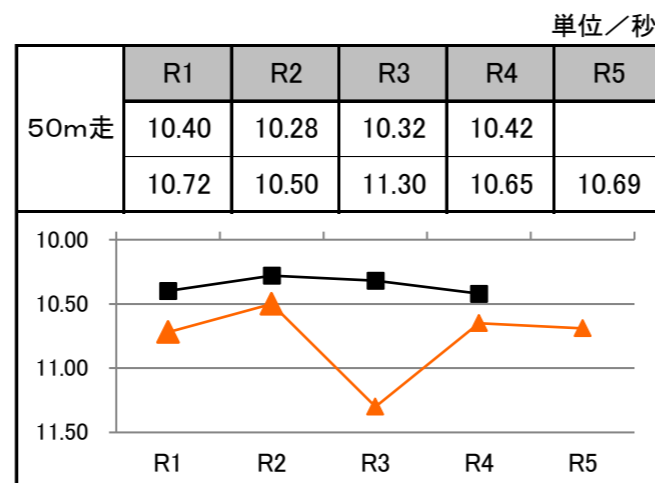
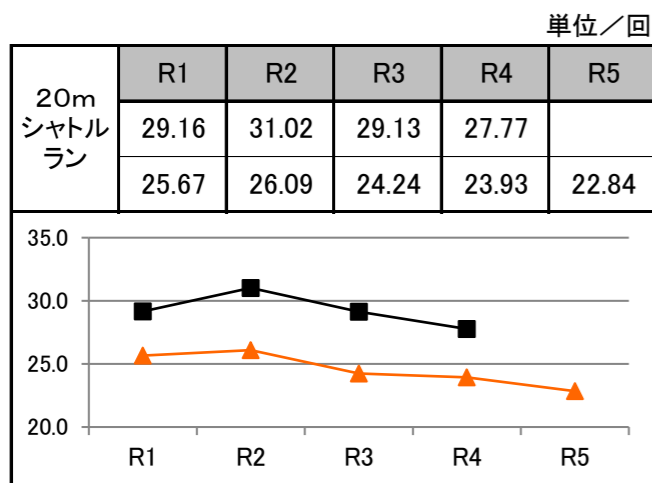
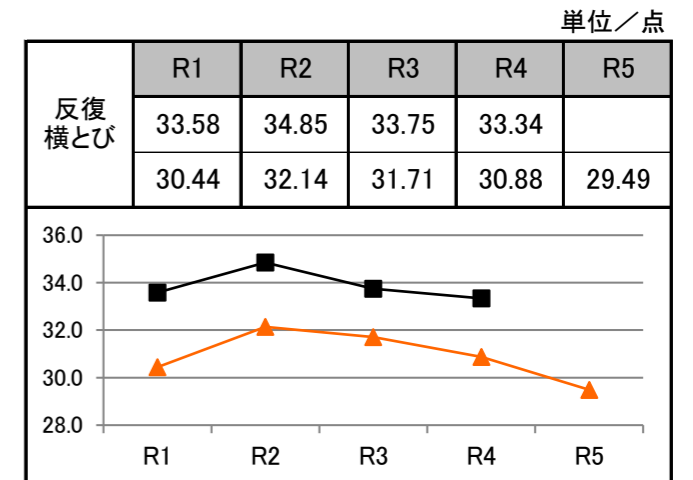
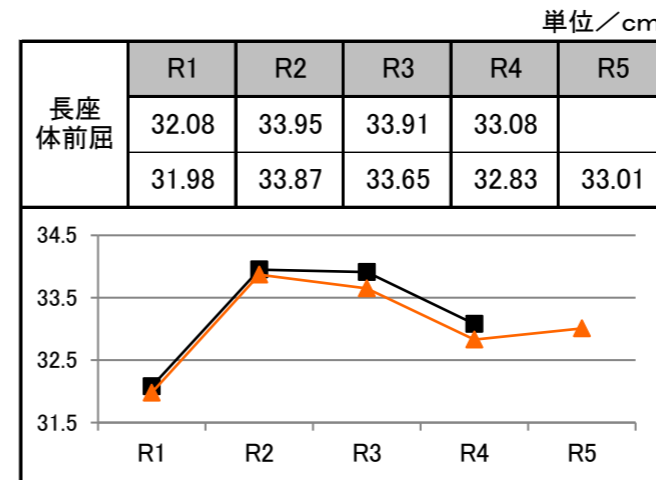
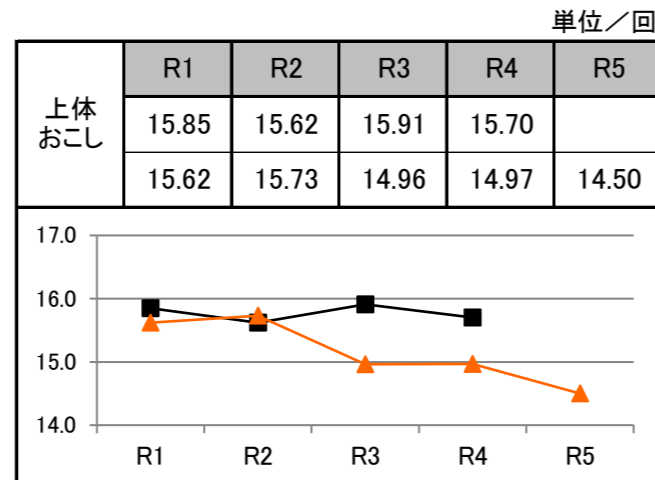
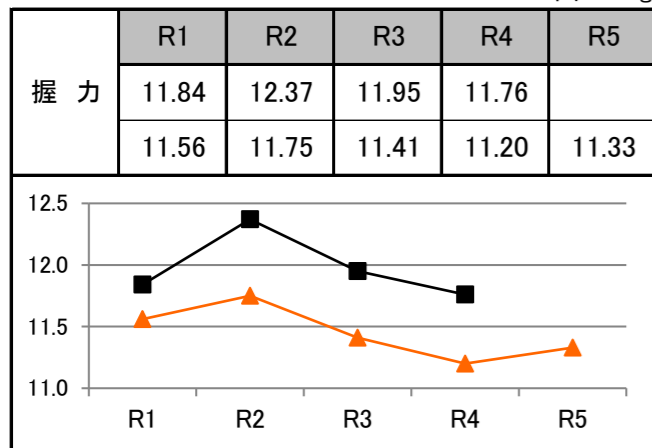


総合評価 ※3



各種目の状況

※ 上段: 全国
下段: 大阪府
単位/kg



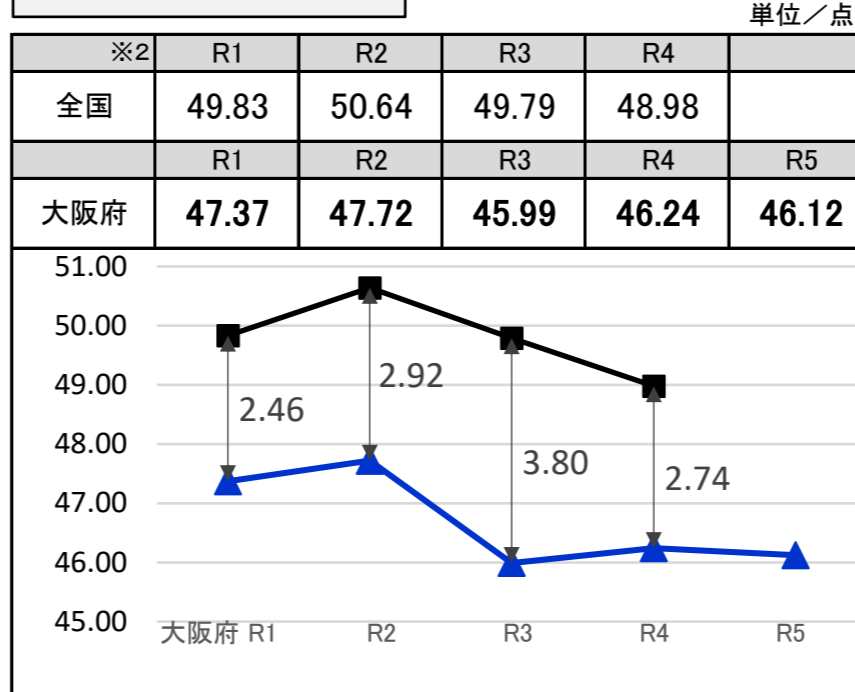
令和5年度 大阪府の実技に関する調査結果と推移 - 公立学校 -

小学校4年生 男子 (政令市を含む)

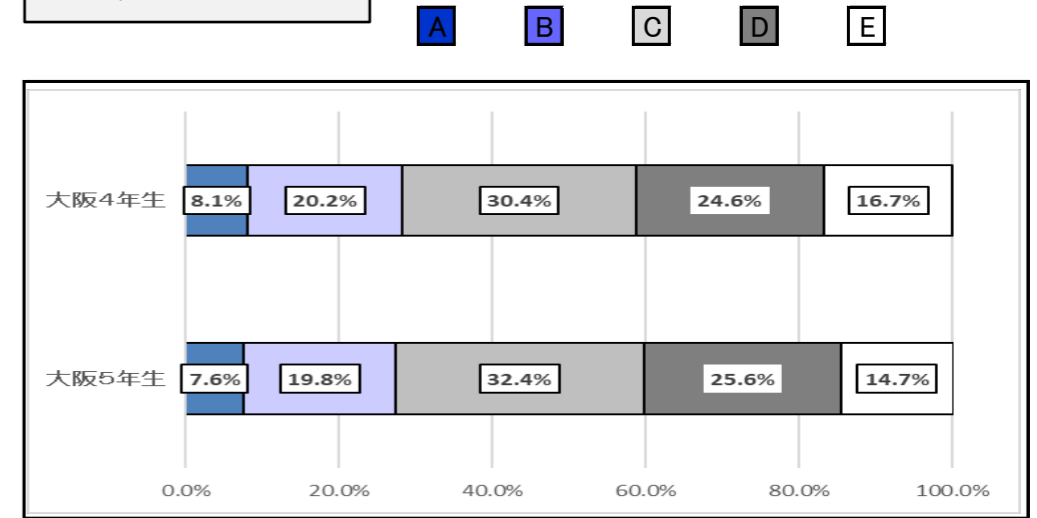
全国—大阪府 (全国平均値と大阪府との比較について)

※1 体力合計点:各種目10点満点とし、8種目を合計した得点。
 ※2 全国の数値は「体力・運動能力調査(抽出調査)」の数値を用いており、この数値は毎年10月頃スポーツ庁より前年度の数値が公表されるため、今年度の数値は記載していない。
 大阪府の数値は令和5年度はめっちゃMORIMORIスポーツテスト(悉皆調査)の数値を用いている。令和1~2年度は大阪府の「体力・運動能力調査(抽出調査)」の数値。令和3~4年度はモデル実施校の数値を用いている。
 ※3 総合評価は体力合計点を5段階で評定。
 4年生は
 A:59点以上 B:52~58点 C:45~51点 D:38~44点 E:37点以下
 大阪府の5年生の数値は、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の数値を用いている。

体力合計点 ※1

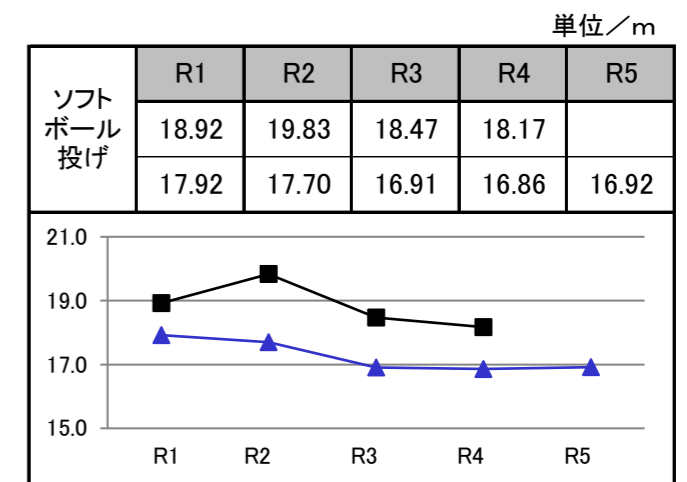
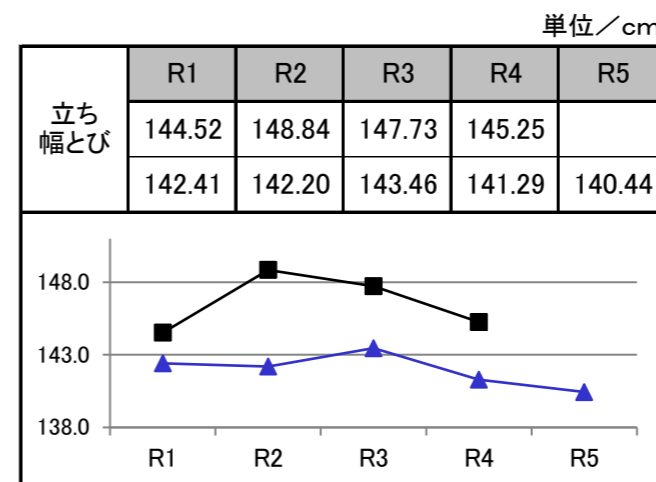
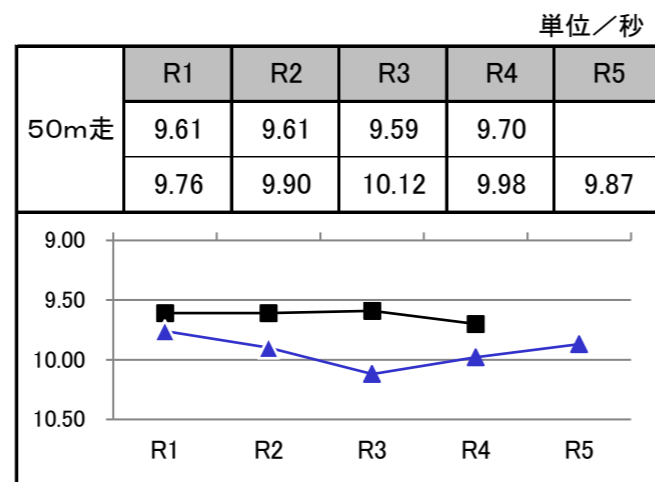
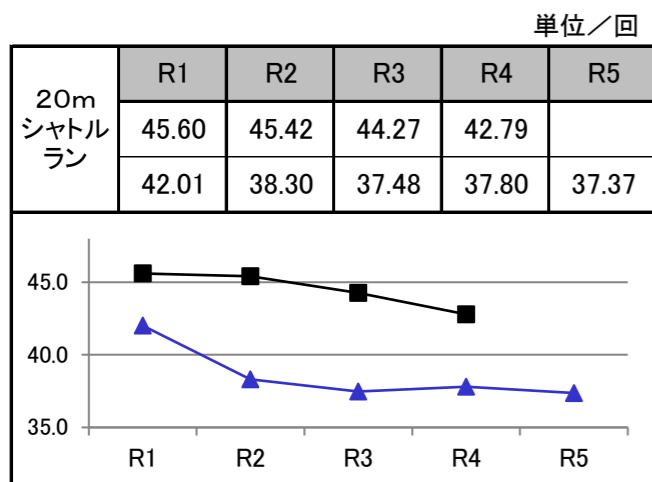
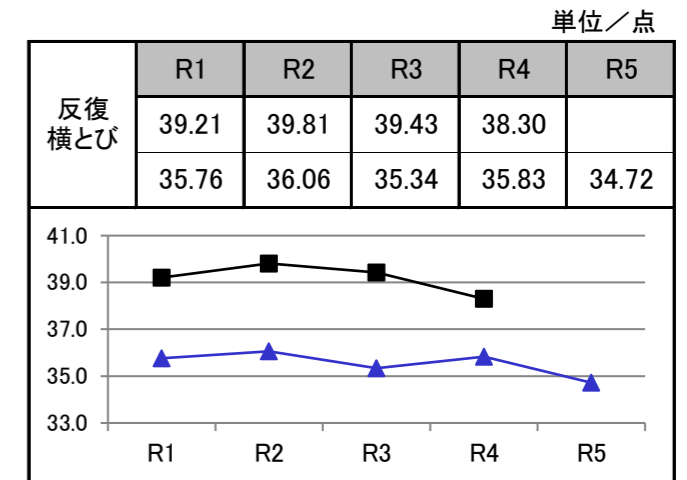
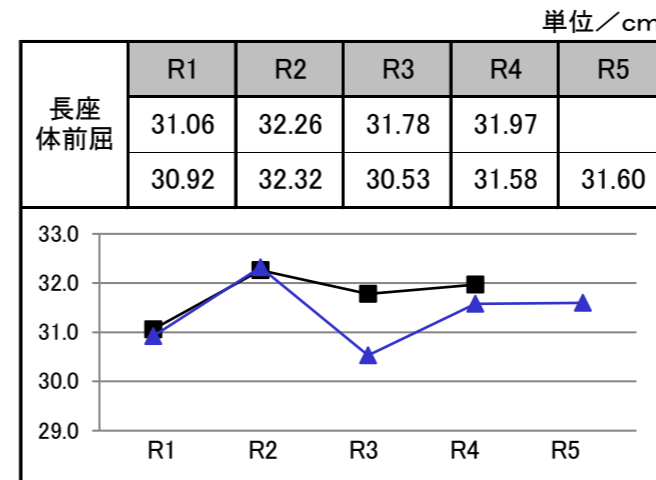
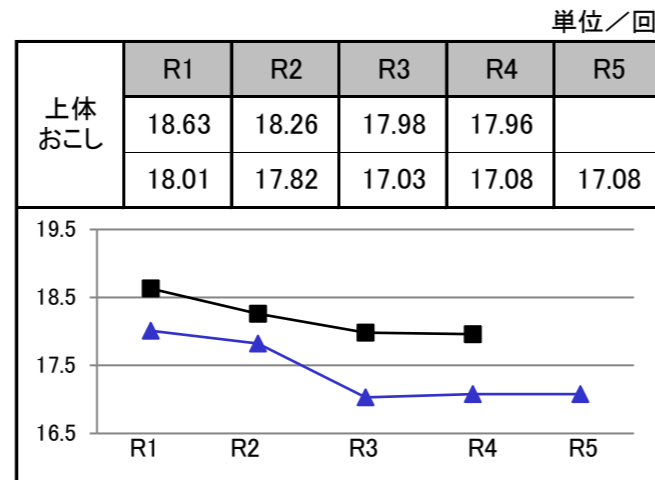
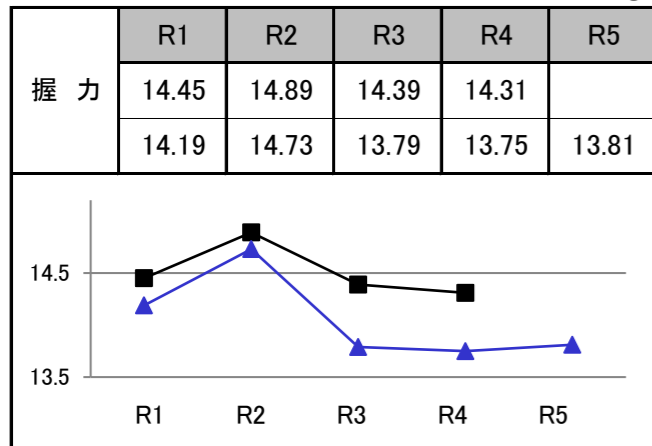


総合評価 ※3



各種目の状況

※ 上段:全国
下段:大阪府
単位/kg



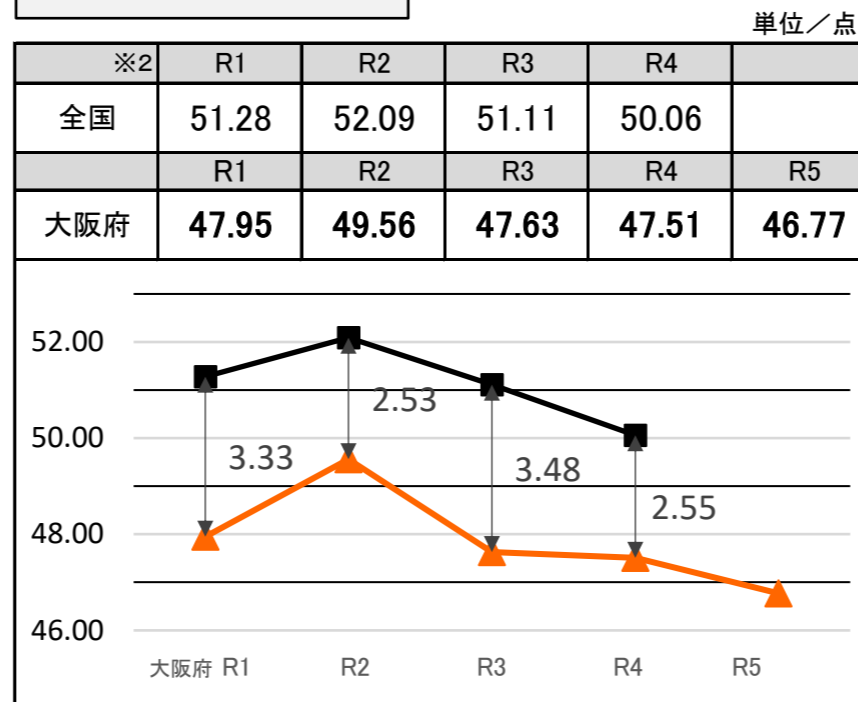
令和5年度 大阪府の実技に関する調査結果と推移 - 公立学校 -

小学校4年生 女子 (政令市を含む)

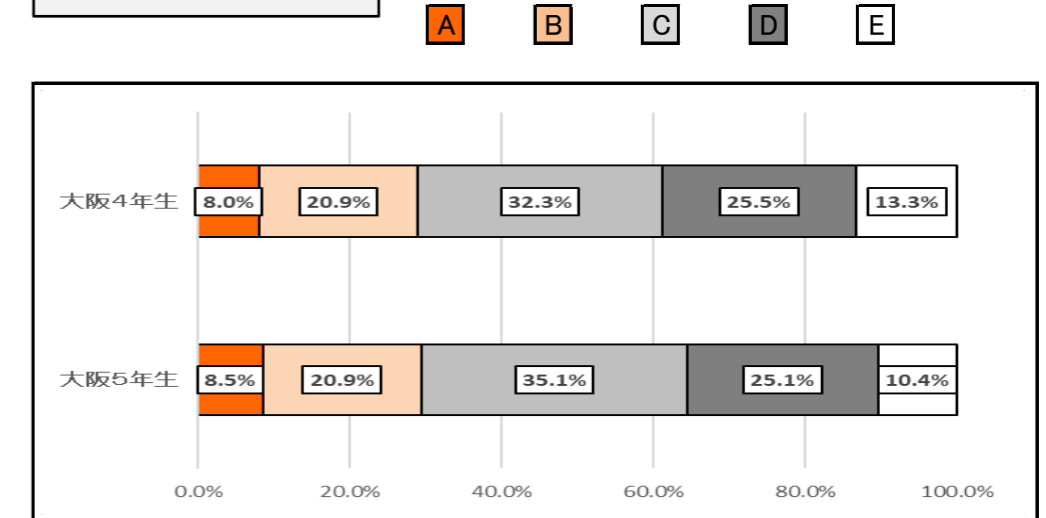
全国—大阪府 (全国平均値と大阪府との比較について)

※1 体力合計点:各種目10点満点とし、8種目を合計した得点。
 ※2 全国の数値は「体力・運動能力調査(抽出調査)」の数値を用いており、この数値は毎年10月頃スポーツ庁より前年度の数値が公表されるため、今年度の数値は記載していない。
 大阪府の数値は令和5年度はめっちゃMORIMORIスポーツテスト(悉皆調査)の数値を用いている。令和1~2年度は大阪府の「体力・運動能力調査(抽出調査)」の数値。令和3~4年度はモデル実施校の数値を用いている。
 ※3 総合評価は体力合計点を5段階で評定。
 4年生は
 A:59点以上 B:52~58点 C:45~51点 D:38~44点 E:37点以下
 大阪府の5年生の数値は、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の数値を用いている。

体力合計点 ※1

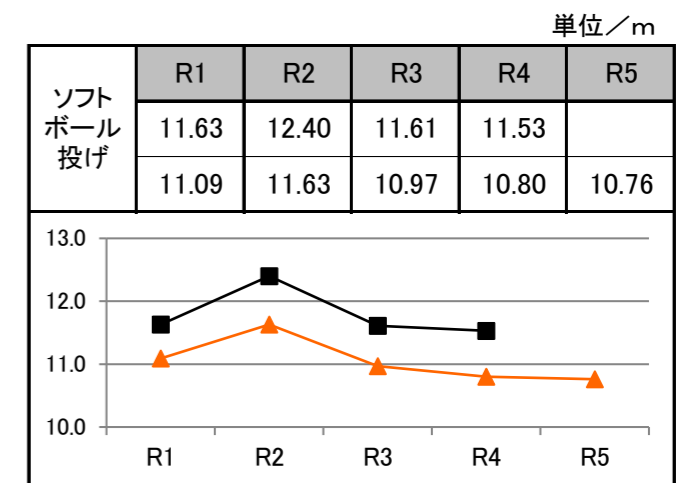
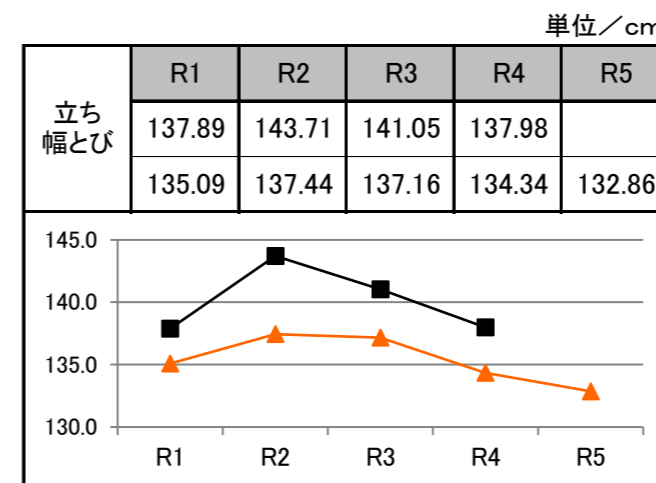
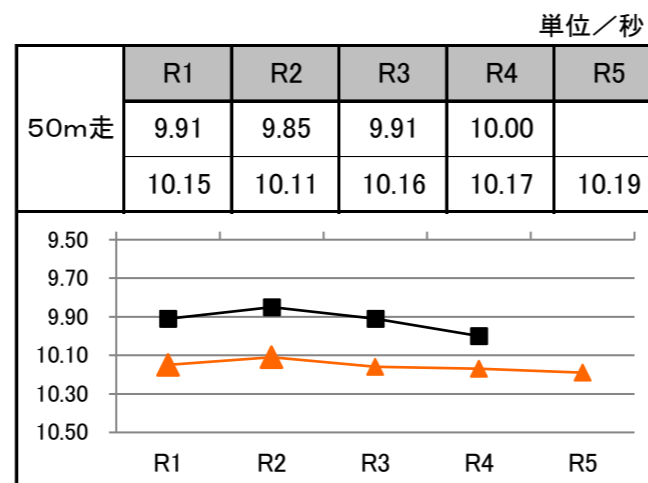
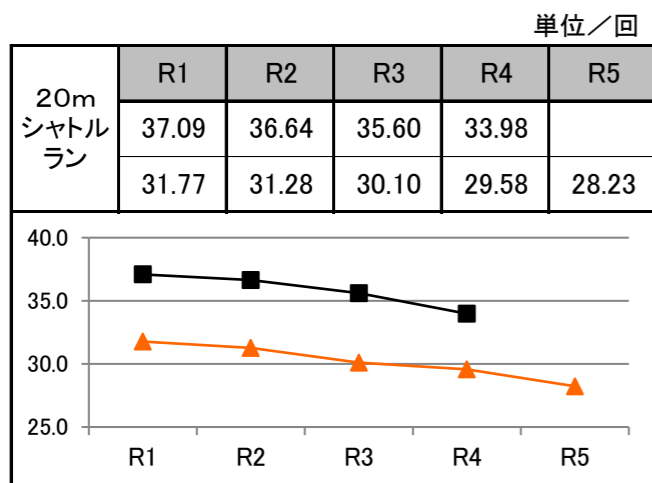
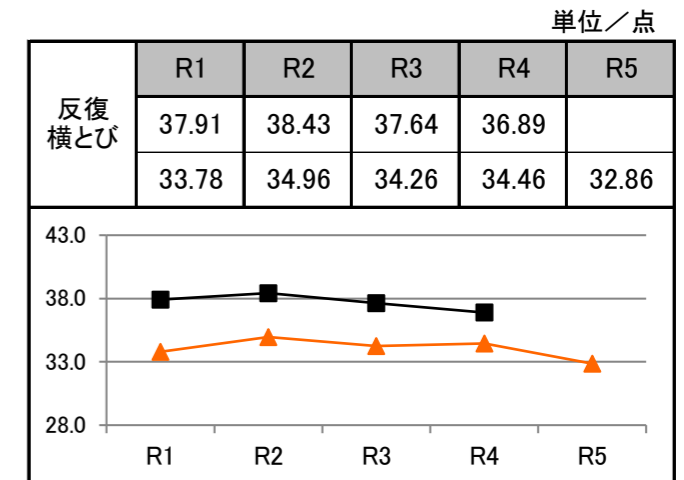
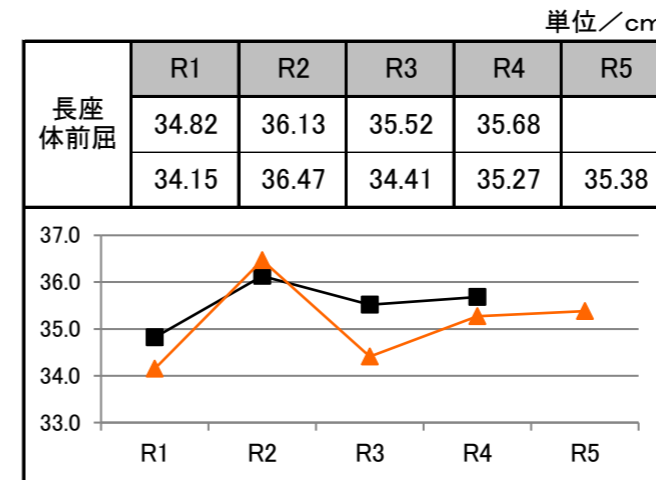
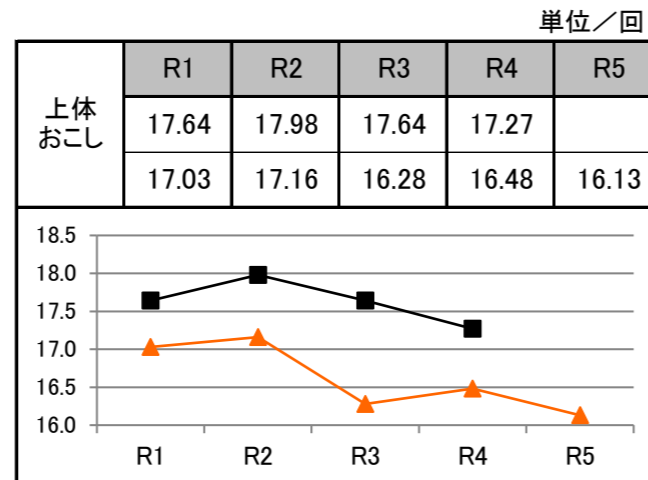
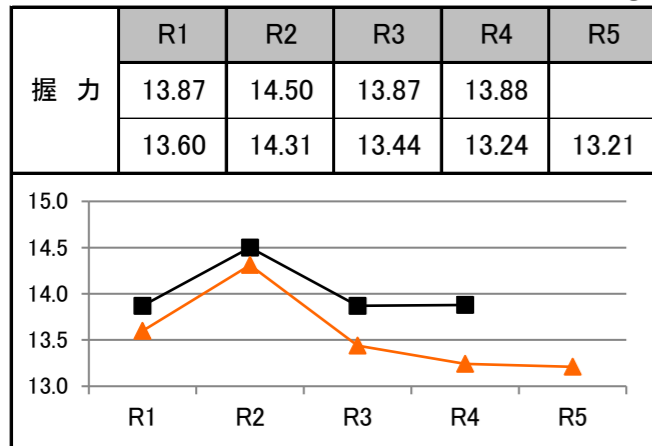


総合評価 ※3



各種目の状況

※ 上段: 全国
下段: 大阪府
単位/kg

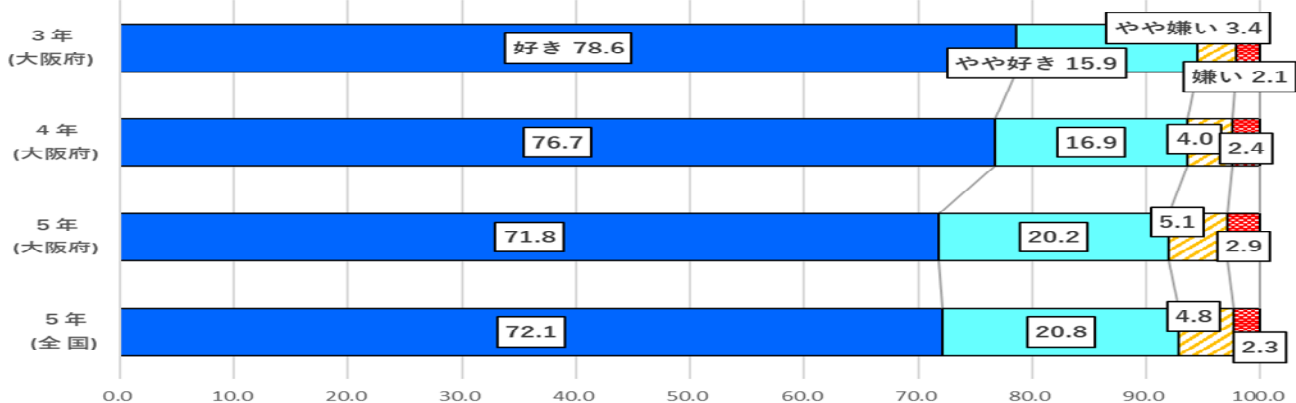


児童質問調査の結果

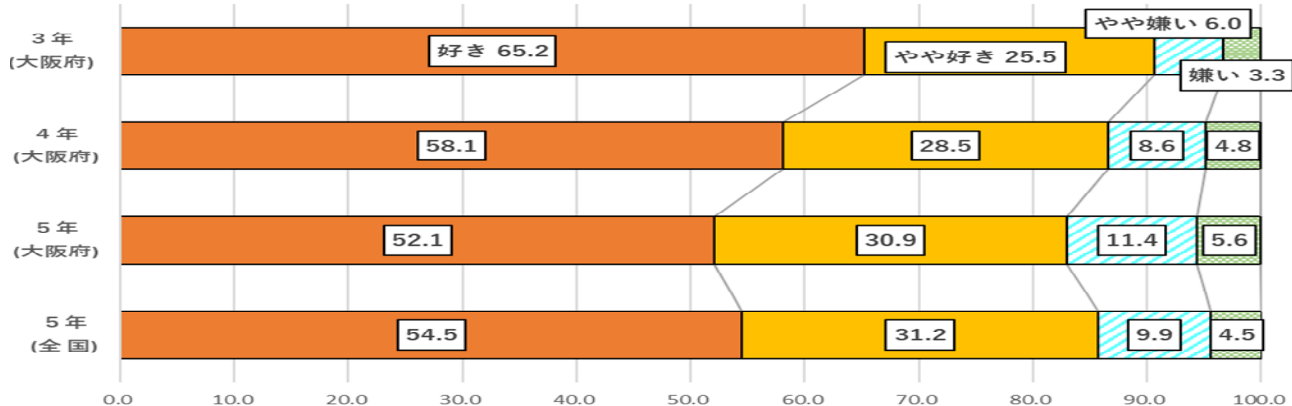
問1 運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。

- ・「好き」と回答した児童の割合において、3・4年生ともに女子よりも男子の方が高く、3年生で13.4ポイント、4年生で18.6ポイント高かった。
- ・女子において、「やや嫌い」「嫌い」と回答した児童の割合が、学年が上がるほど高かった。
- ・「好き」と回答した児童は、総合評価Aの割合が高かった。

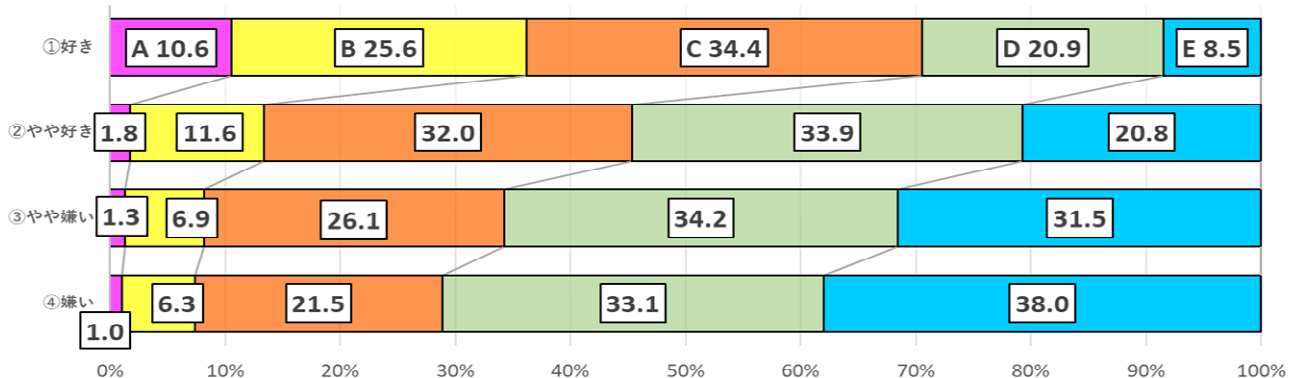
●【男子】



●【女子】



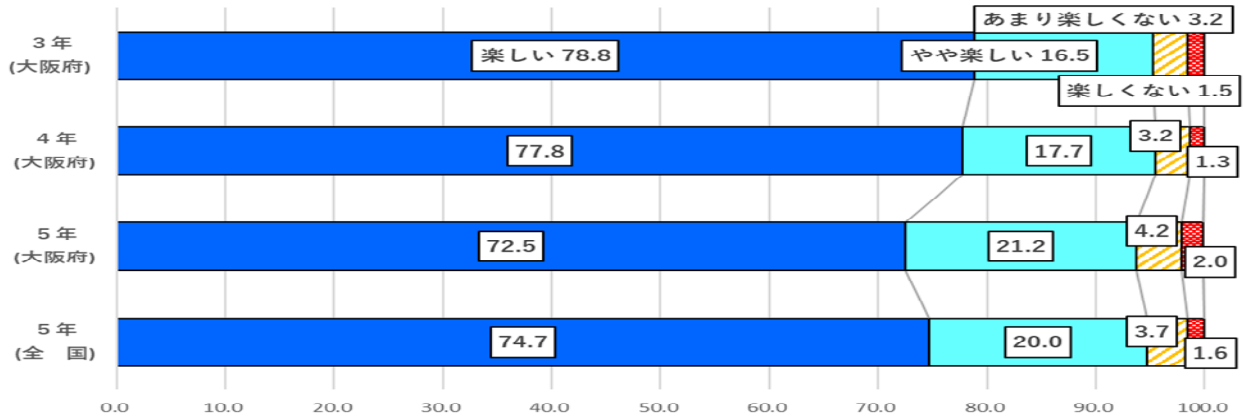
「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好き」×総合評価



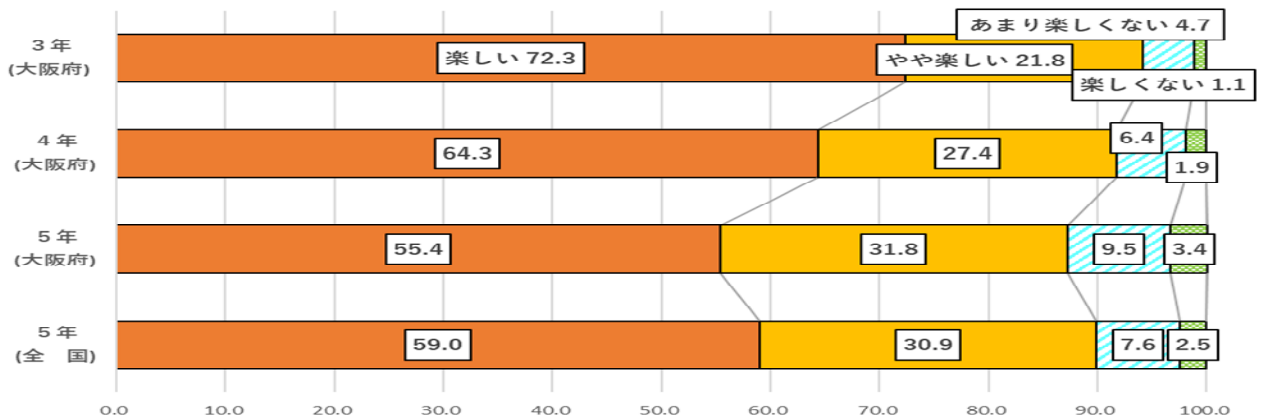
問2 体育の授業は楽しいですか。

- ・4年生の女子では「楽しい」と回答した児童が、3年生と比較して8.0ポイント少なかった。
- ・女子において、「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答した児童の割合が、学年が上がるほど高かった。
- ・「楽しい」と回答した児童は、総合評価Aの割合が高かった。

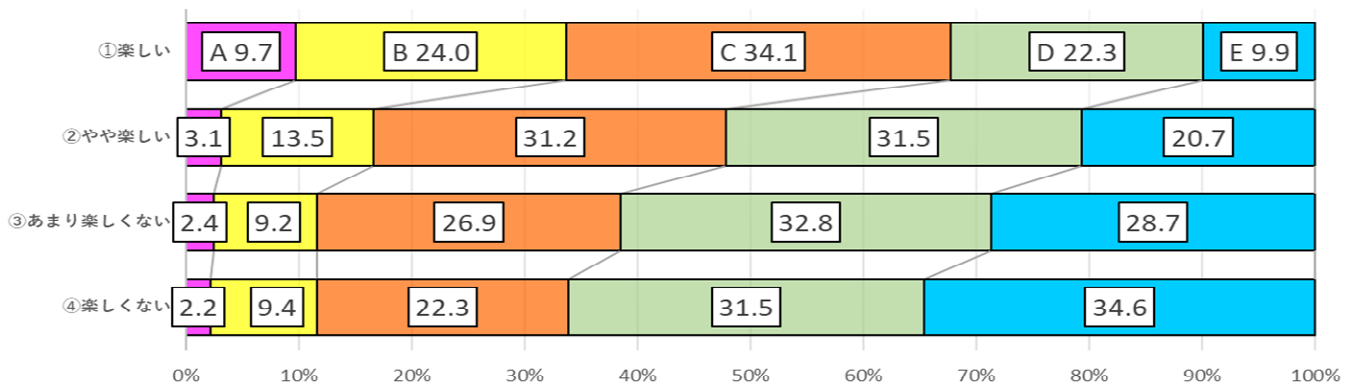
●【男子】



●【女子】



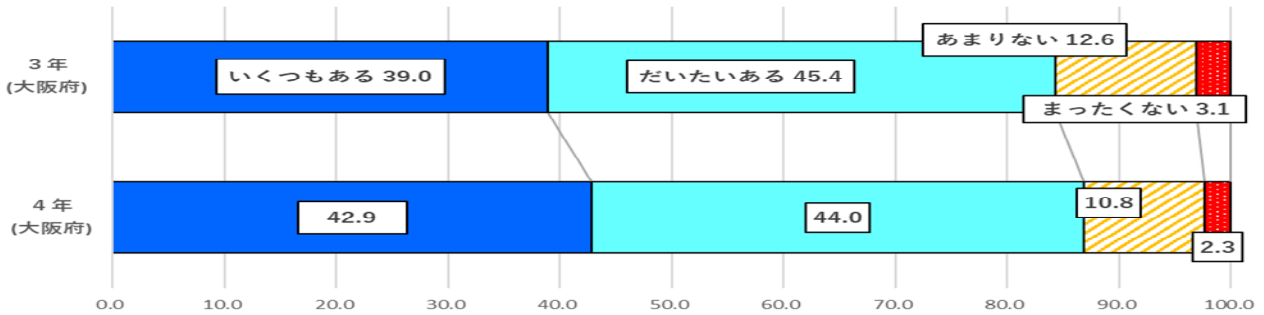
「体育の授業は楽しい」×総合評価



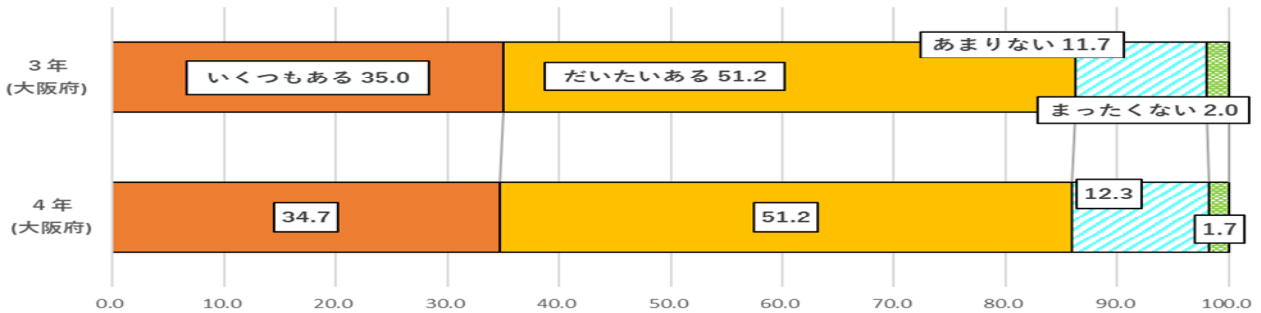
問3 体育の授業で、自分に合った練習方法を選んでもすることで、「できたり、わかったり」することがありますか。

- ・「いくつもある」「だいたいある」と回答した児童の割合は、男子では3年生より4年生の方が高く、女子では3年生の方が高かった。また、「まったくない」の割合は3年生の方が高かった。
- ・「いくつもある」と回答した児童は、総合評価Aの割合が高かった。

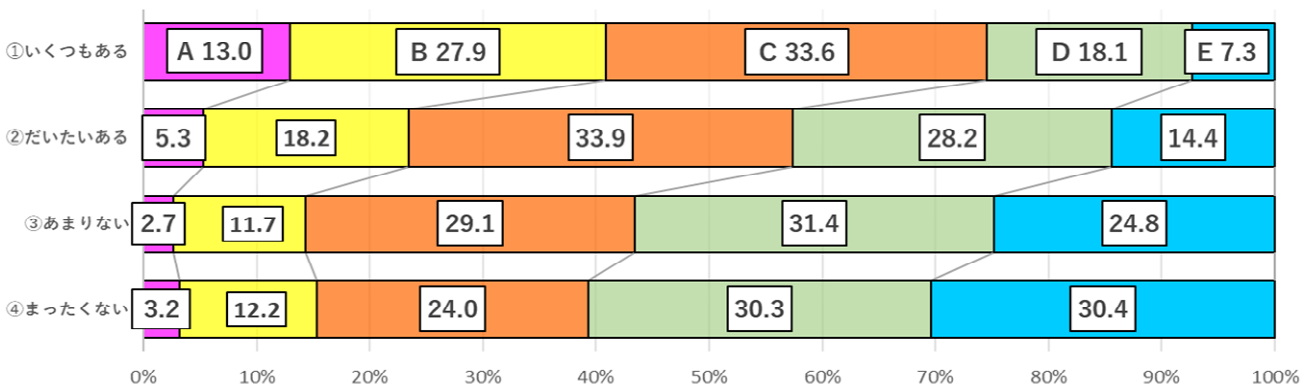
● 【男子】



● 【女子】



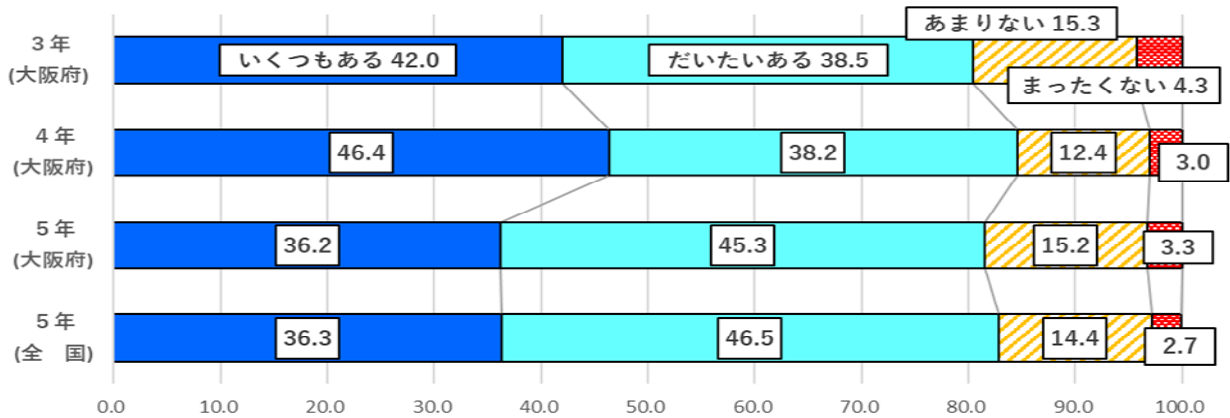
「体育の授業で、自分に合った練習方法を選んでもすることで、「できたり、わかったり」することがある」×総合評価



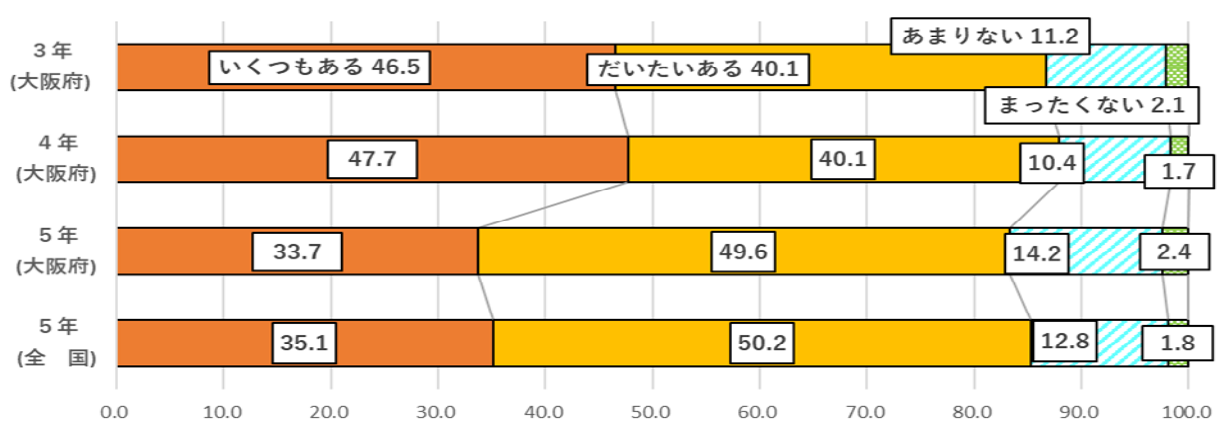
問4 体育の授業で、友だちと助け合ったり教え合ったりすることで「できたりわかったり」することがありますか。

- ・男女ともに「いくつもある」の割合は3年生より4年生の方が高かったが、5年生では男子で10.2ポイント、女子で14.0ポイント低かった。
- ・「いくつもある」と回答した児童は、総合評価Aの割合が高かった。

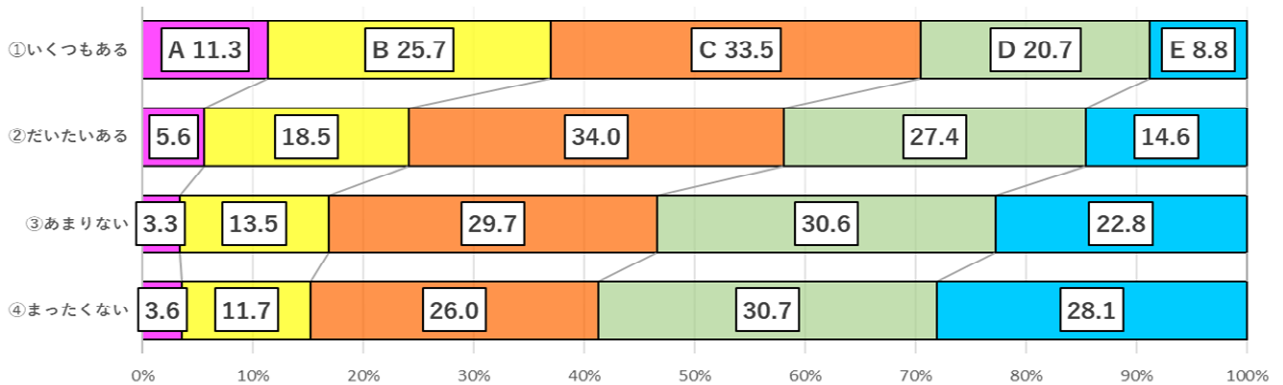
● 【男子】



● 【女子】



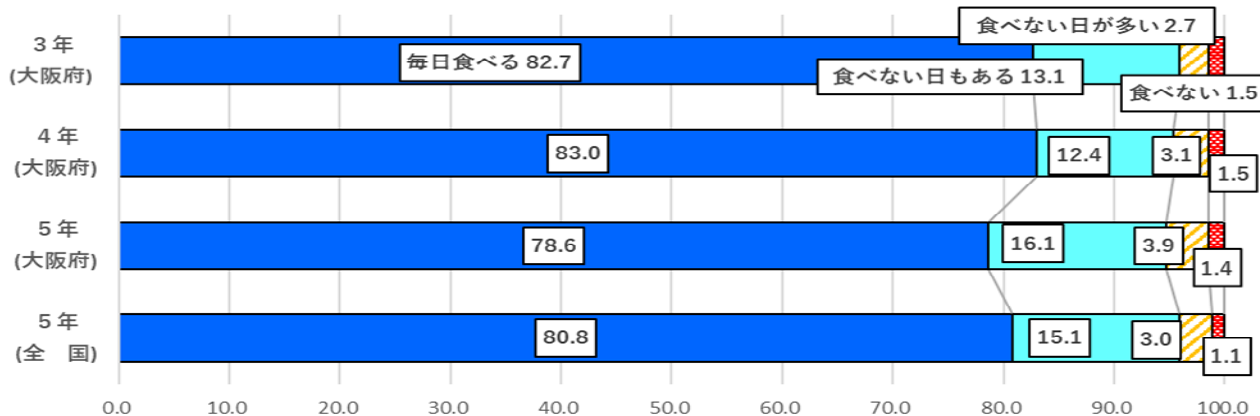
「体育の授業で、友だちと助け合ったり教え合ったりすることで「できたりわかったり」することがある」×総合評価



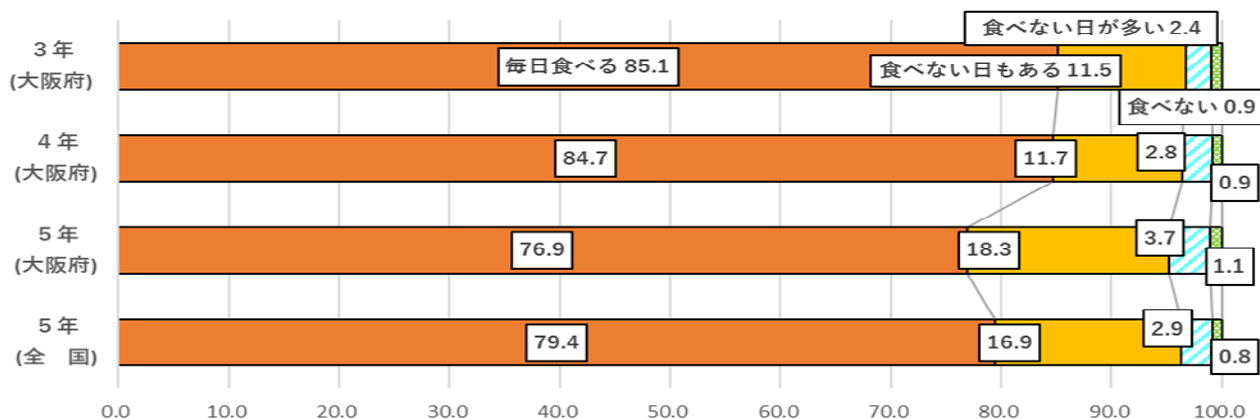
問5 朝食は毎日食べますか。

- ・ 3、4年生において、男女ともに「毎日食べる」の割合は男子より女子の方が高かったが、5年生は男子の方が高かった。
- ・ 「毎日食べる」と回答した児童は、総合評価Aの割合が高かった。

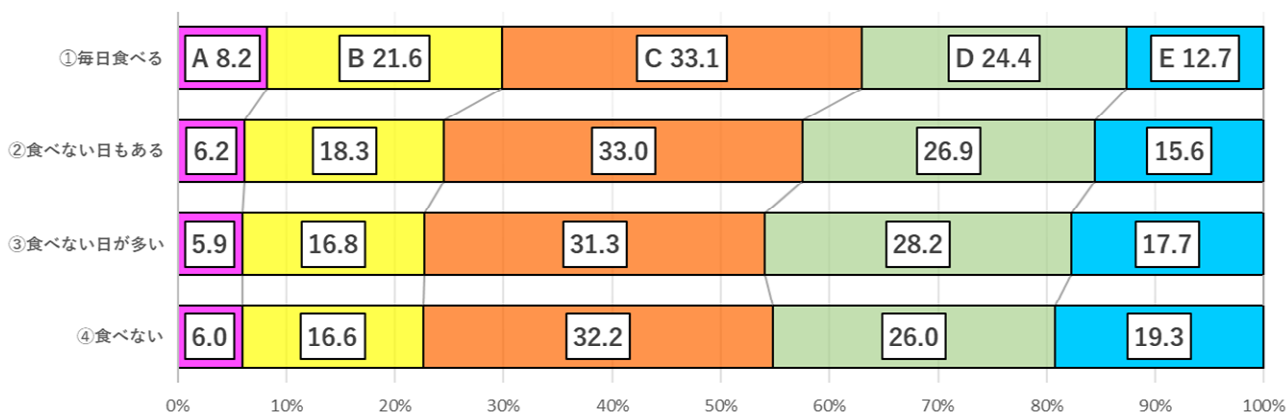
●【男子】



●【女子】



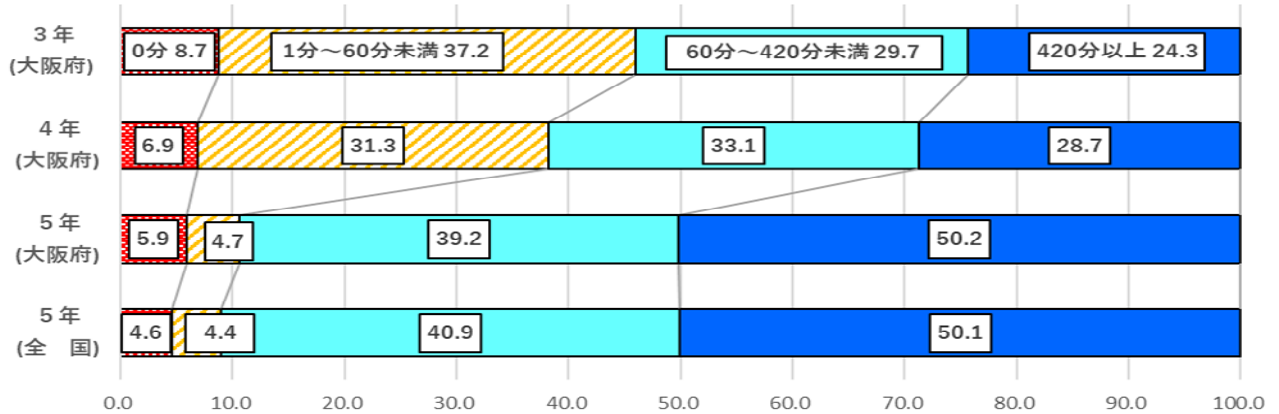
「朝食を毎日食べる」×総合評価



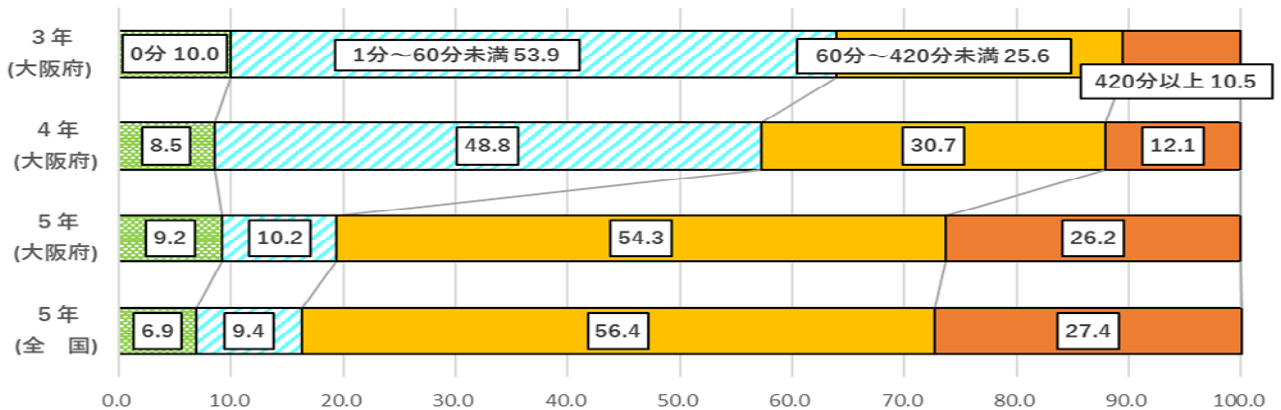
問6 普段の1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを、合計でおよそどのくらいの時間していますか。（学校が休みの日も含めます）

- ・ 3年生、4年生女子は「1分～60分未満」、4年生男子は「60分～420分未満」の割合が最も高かった。
- ・ 5年生と比較して「1分～60分未満」の割合が大きかった。
- ・ 「420分以上」と回答した児童は、総合評価Aの割合が高かった。

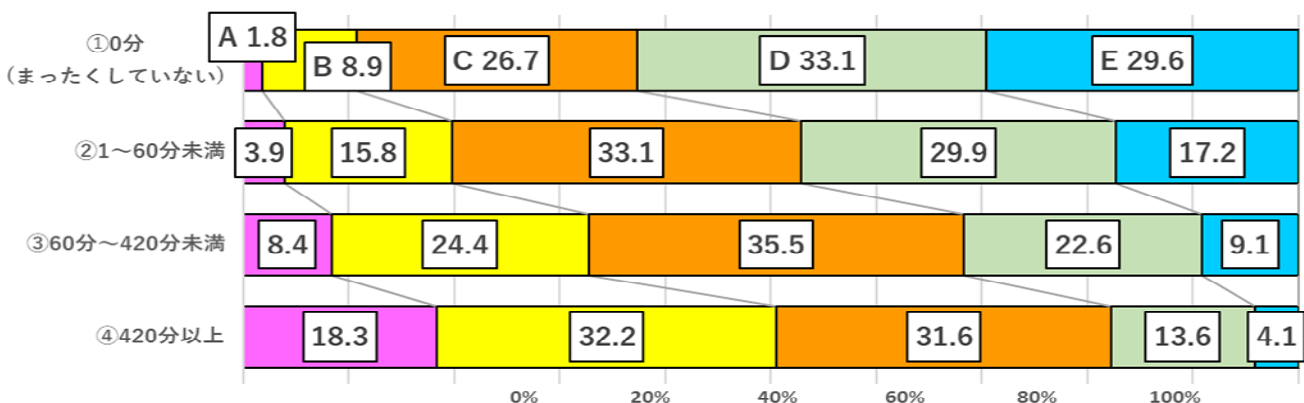
● 【男子】



● 【女子】



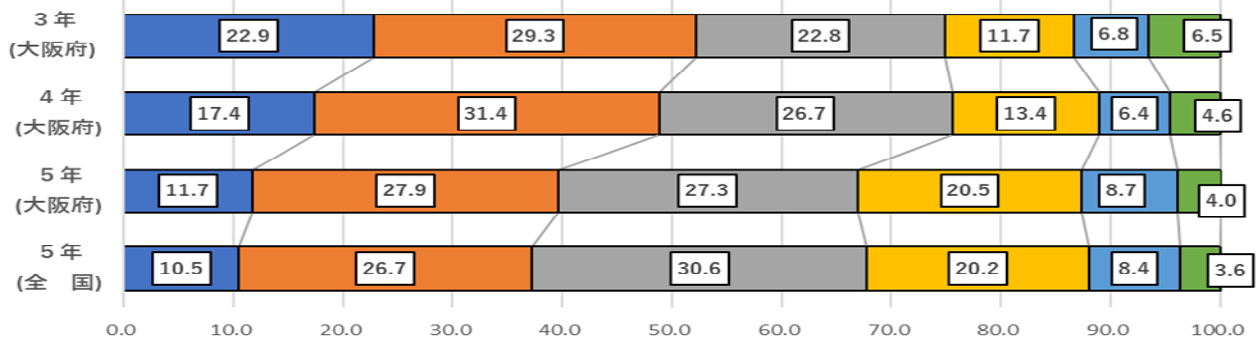
「1週間の総運動時間」×総合評価



問7 毎日どのくらい寝ていますか。平日（月～金曜日）について聞きます。

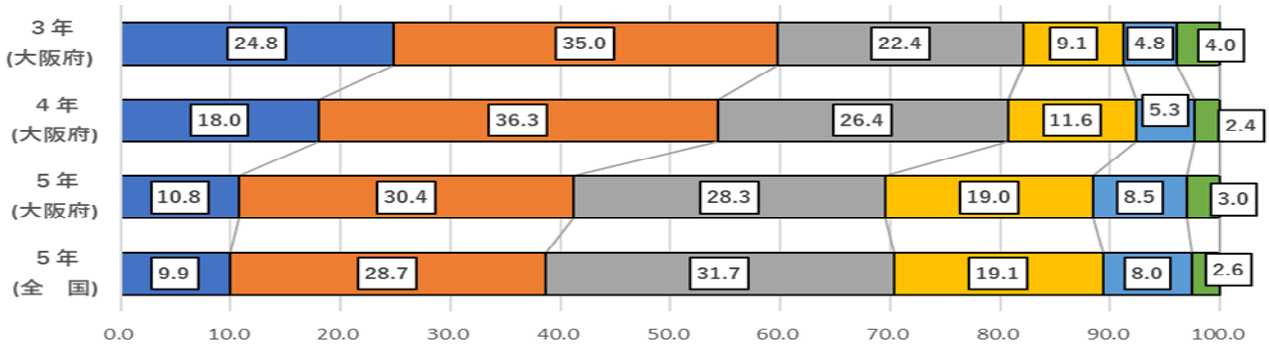
- ・ 3、4年生、男女ともに「9時間以上～10時間未満」の割合が最も高かった。「6時間未満」の割合は3年生が最も高かった。
- ・ 「9時間以上～10時間未満」と回答した児童は、総合評価Aの割合が高かった。

●【男子】



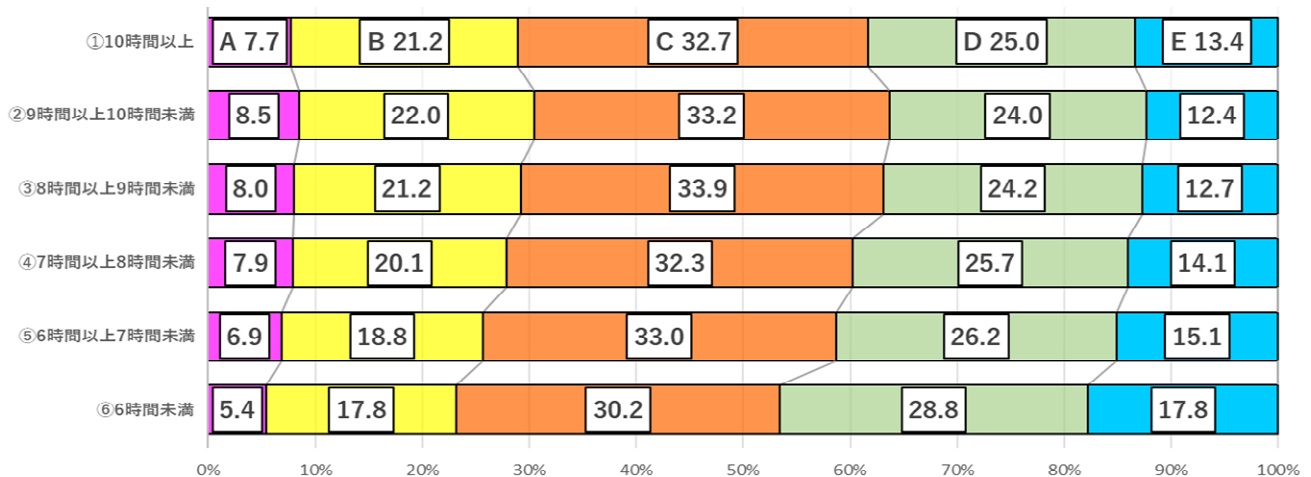
■ 10時間以上 ■ 9時間以上10時間未満 ■ 8時間以上9時間未満 ■ 7時間以上8時間未満 ■ 6時間以上7時間未満 ■ 6時間未満

●【女子】



■ 10時間以上 ■ 9時間以上10時間未満 ■ 8時間以上9時間未満 ■ 7時間以上8時間未満 ■ 6時間以上7時間未満 ■ 6時間未満

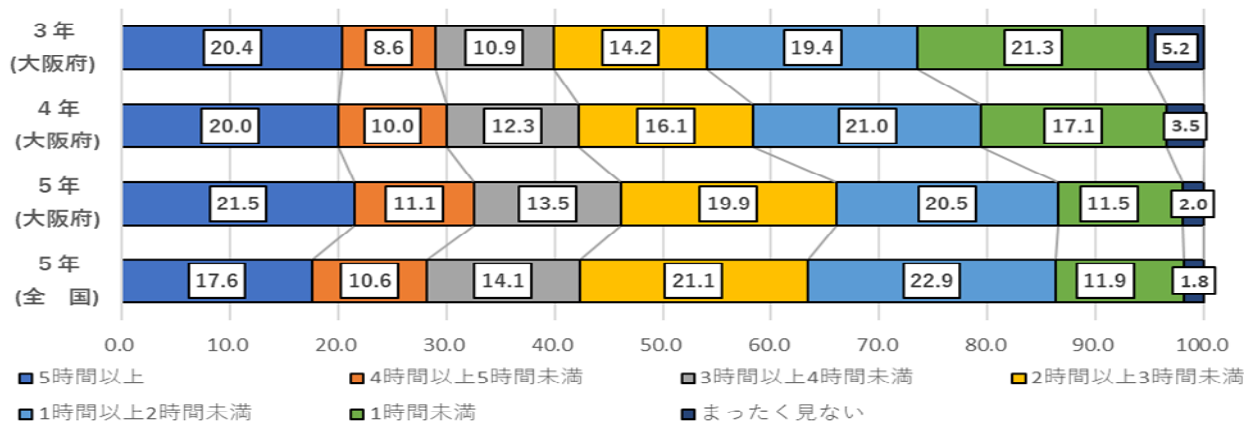
「1日の睡眠時間」×総合評価



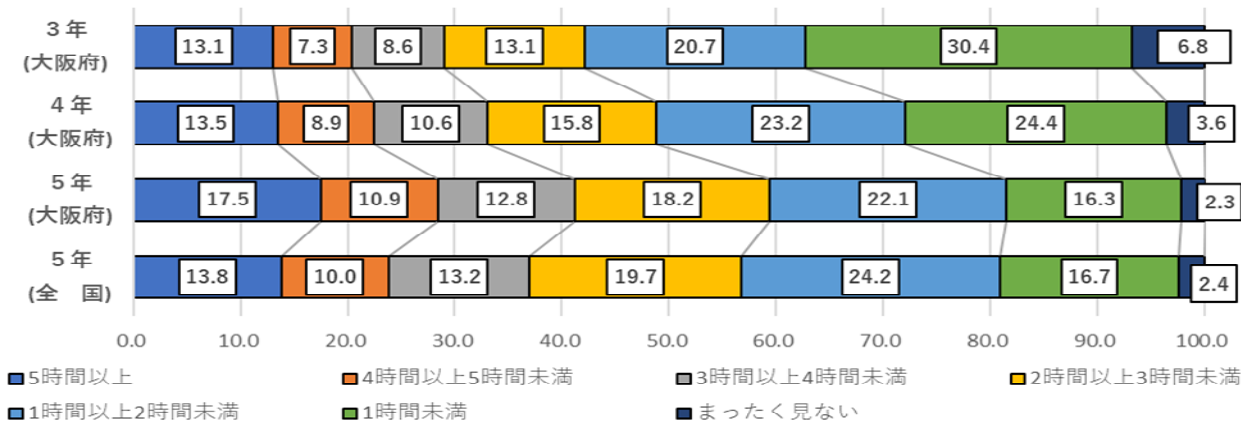
問8 平日（月～金曜日）について聞きます。学校以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見えていますか。（学校が休みの日は含めません）

- ・3年生では「1時間未満」の割合が最も高く、4年生では男子は「1時間以上2時間未満」、女子では「1時間未満」の割合が最も高かった。
- ・スクリーンタイムが短い児童ほど、総合評価Aの割合が高かった。

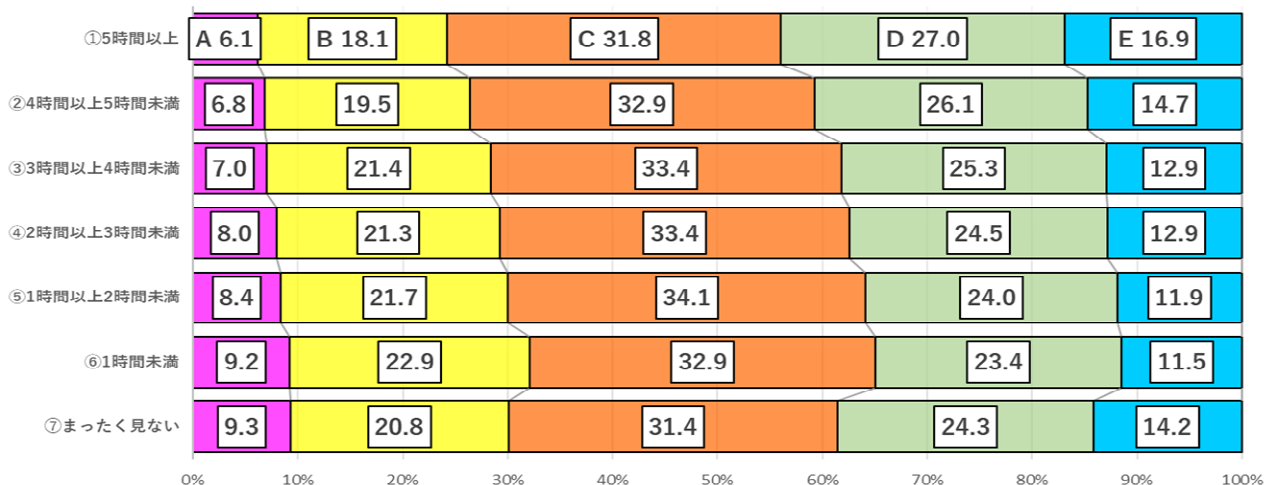
● 【男子】



● 【女子】



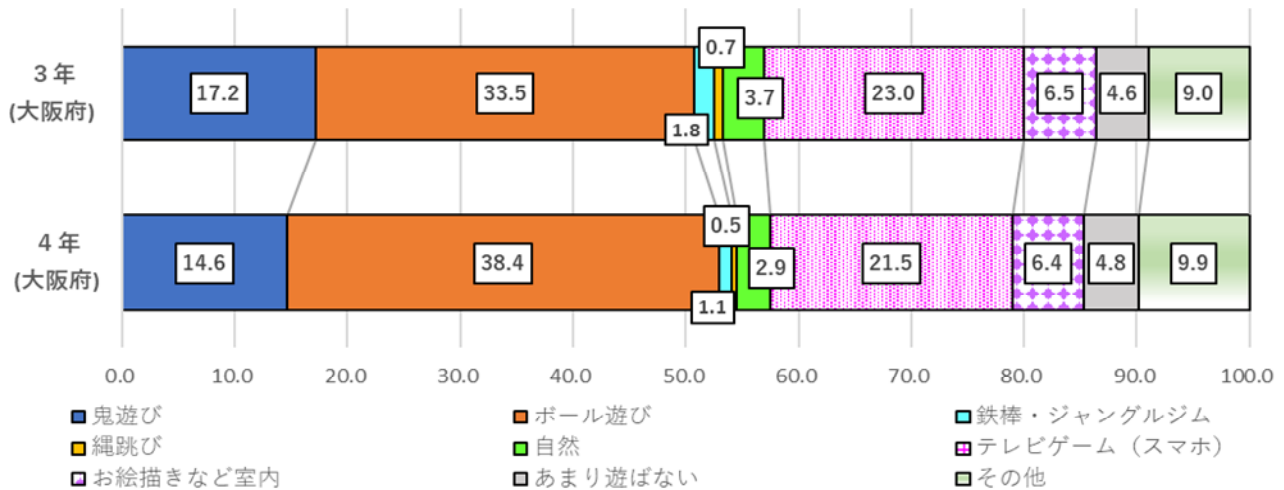
「1日のスクリーンタイム」×総合評価



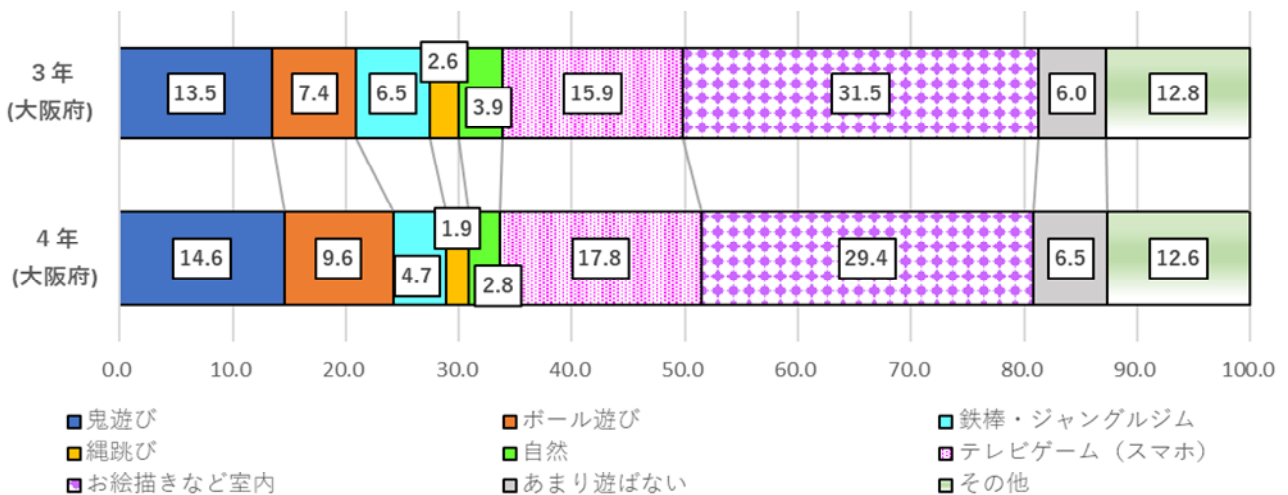
問9 中休みや昼休み学校が休みの日に最もよくやる遊びを教えてください。

- ・男子は「ボール遊び」「テレビゲーム（スマホゲーム含む）」の順に多く、女子は「お絵描きなど室内」「テレビゲーム（スマホゲーム含む）」の順に多かった。
- ・外遊び（鬼遊び・ボール遊び・鉄棒・ジャングルジム・縄跳び・自然）の割合は男子の方が高く、3年生男子は56.9%、4年生男子は57.5%、3年生女子は33.9%、4年生女子は33.6%だった。

● 【男子】



● 【女子】



【高槻市】授業改善に係る取組み①及び効果検証

【高槻市の取組み①】

高槻市立五百住小学校 4年1組 32名 指導者[]

目標・課題

【俊敏性や力強い動きを身に付けるための運動を継続的に行い、50m走の記録を向上させる。】

日付	時間	単元名	指導内容[準備物]	活動時間等
11月	7h 6h	小型ハードル走 跳び箱運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体じゃんけん ・鬼ごっこ ・遊具リレー ・ラダーステップ〔ラダー〕 ・しっぽとり〔4色のしっぽ〕 ・サーキット〔単元ごとに使用する道具〕 ・リズムダッシュ ・リズムアップ（体操及び筋トレ） ・リズムなわとび〔なわとび〕 ・グループアップ ・本時の運動に合わせたドリル などなど 	毎時間、 授業の最初の 5～15分を 使ってその時に 合うメニューを 実施。
12月	3h 3h	体づくり運動 マット		
1月	5h 5h	体づくり運動 高跳び		
2月	5h 5h	ラインサッカー キャッチバレー		
3月	6h	タッチフット		

50m走

五百住小	4月	3月	伸び率(%)
4年生男子	9.39	9.21	101.95
4年生女子	9.63	9.42	102.23

全国	4年生	5年生	伸び率(%)
男子	9.70	9.48	102.32
女子	10.00	9.71	102.99

伸び率は全国平均と比較して少し低かったが、5年生の全国平均値を上回っている。

【高槻市】授業改善に係る取組み②

高槻市立松原小学校 3年1組 36名 指導者[]

目標・課題 **【運動に親しむ習慣をつけ、シャトルランの記録向上をめざす】**

日付	単元名	指導内容[準備物]	活動時間等
5月 6月	マット運動	いろいろな動き スキップ→ケンケン→後ろ歩き→ダッシュ	毎時間授業の最初の7分
9月 10月	とび箱	いろいろな動き スキップ→ケンケン→後ろ歩き→ダッシュ	毎時間授業の最初の7分
12月	体づくり運動	おにごっこや陣取りボールなど	毎時間授業の最初の7分
1月	体づくり運動	おにごっこや陣取りボールなど 自分のペースで、4分間走りきる。	毎時間授業の最初の7分
2月	体づくり運動 シャトルラン測定	おにごっこや陣取りボールなど 自分のペースで、4分間走りきる。	毎時間授業の最初の7分

※1月、2月には、体づくり運動 イ 多様な動きをつくる運動を計6回実施。

※上記の指導によって、到達度を確かめるために、2月の後半にシャトルランを実施した。

【校内の取組内容】

【なわとび週間】

12月には高槻市全体で取り組んでいる「たかつき なわとびカード」を活用してなわとび週間を実施した。楽しく、なわとびに親しみ、持久力の向上に貢献した。(20分休み)

【かけっこ週間】

1月には、全学年で「かけっこ週間」を実施し、体づくり運動の イ 多様な動きをつくる運動に向けてスムーズに実施できるようにすること、かけっこをすることで走る楽しさを感じることを通して全身持久力の向上に取り組んだ。(20分休み)

【ドッジボール週間】

1月には、全学年で「ドッジボール週間」を実施し、体づくり運動の イ 多様な動きをつくる運動に向けてスムーズに実施できるようにすることを通して体力の向上に取り組んだ。(20分休み)

【高槻市】効果検証

【高槻市の取組み②】

高槻市立松原小学校

※1月、2月には、体づくり運動 イ 多様な動きをつくる運動を計6回実施し、自分のペースを守りながら、体力の向上に取り組んだ。

※到達度を確かめるために、2月の後半にシャトルランを実施した。

【シャトルランの結果】

3年生・4年生でシャトルランの計測を行い、4月の結果と比較

→全体的に記録が伸びた。特に4年生での伸びが大きかった。

松原小	4月	2月	伸び率(%)	増加回数
3年生男子	30.93	34.37	111.11	3.44
3年生女子	26.14	29.69	113.59	3.55

全国	3年生	4年生	伸び率(%)	増加回数
男子	35.17	42.79	121.67	7.62
女子	27.77	33.98	122.36	6.21

松原小	4月	2月	伸び率(%)	増加回数
4年生男子	28.68	39.38	137.28	10.69
4年生女子	26.31	36.29	137.94	9.98

全国	4年生	5年生	伸び率(%)	増加回数
男子	42.79	46.92	109.65	4.13
女子	33.98	36.80	108.30	2.82

持久走をしている時期でもあって、児童は意欲的に取り組んでいた。

【松原市の取組み】

松原市立恵我小学校

1. 取組み前の現状

○めっちゃMORIMORIスポーツテスト、全国体力・運動能力等、運動習慣等調査結果より

男子、女子の結果よりすべての学年で反復横跳び、20mシャトルランが国の結果を大きく下回っている。
→学校としての重点種目を「反復横跳び」に設定

2. 恵我小学校での取組み

- ・運動場での体育の際、毎時間の準備体操後にラダートレーニングを帯活動として実施。
- ・ラダートレーニングは、少人数(班)で活動できるように6セット用意し、一人ひとりの運動量を確保。
- ・様々な動きや遊びの要素を取り入れ、楽しく体力アップができるようにしている。
- ・横方向の移動が多いネット型ボール運動としてテニス型ゲームの「テニピン」に取り組んでいる。
- ・「テニピン」は、打つ以外にも、ボールのところに足を動かさないといけないので、非常に体力を使う。
- ・児童は楽しみながら取り組むことができ、自然に体力アップにつながる運動である。

・大阪体育大学 小林准教授に来ていただき、教職員研修を実施。



運動が楽しい→運動をする→体力が増進する→運動ができるようになる→達成感を味わえる→さらに運動する→体力増進→運動が楽しい→…といったサイクルを学校全体でめざすきっかけとなる研修となった。

3. 体力向上の取組み実施後の児童の感想

- ・家でもやってみようと思ったし、家の人にも伝えたいと思った。 ・学校のラダートレーニングが一番楽しい。
- ・ちゃんと足を上げるととてもしんどかったので、続けていけばもっとできるようになると思うから、これからもちゃんと足を上げていこうと思った。
- ・集中してやると自分の体が強くなっている感じがする。 ・もっとうまく、速くできるようになりたい。
- ・いろいろな動きの中に、自分の得意な動きがあることが分かった。 ・反復横跳びが早くなりそうな気がする。
- ・いいトレーニングになっていて、自分の体がきたえられている気がする。
- ・予想以上に体力が必要で始めのころはすぐに疲れていたけれど、少しずつ疲れずにできるようになってきた。

【松原市】授業改善に係る研修

【令和6年2月2日（金）】 18名参加

講師 大阪体育大学 准教授 小林 博隆

時間 16:00～17:00

場所 松原市立恵我小学校 ランチルーム



本日の研修について

「1. 内容は充実していた」

あてはまる	18	だいたいあてはまる	0		
あまりあてはまらない	0	あてはまらない	0	無回答	0

「2. 内容はあなたに期待や要望に応じている」

あてはまる	17	だいたいあてはまる	0		
あまりあてはまらない	0	あてはまらない	0	無回答	1

「3. 今後、自身の体育授業の工夫や改善に参考になるものであった」

あてはまる	17	だいたいあてはまる	0		
あまりあてはまらない	0	あてはまらない	0	無回答	1

【令和6年2月14日（水）】 15名参加

講師 一般社団法人スポーツ能力発見協会 (DOSA)

那須 乗斗・四宮 邦泰

時間 15:45～16:30

場所 松原市立恵我小学校 ランチルーム



本日の研修について

「1. 内容は充実していた」

あてはまる	14	だいたいあてはまる	1		
あまりあてはまらない	0	あてはまらない	0	無回答	0

「2. 内容はあなたに期待や要望に応じている」

あてはまる	14	だいたいあてはまる	1		
あまりあてはまらない	0	あてはまらない	0	無回答	0

「3. 今後、自身の体育授業の工夫や改善に参考になるものであった」

あてはまる	15	だいたいあてはまる	0		
あまりあてはまらない	0	あてはまらない	0	無回答	0

【松原市】効果検証

【反復横とびの結果】

4年生で反復横とびの計測を行い、5月の結果と比較

→全体的に記録が伸びた。

伸び率で男女ともに全国を上回った。

特に女子の伸びが大きかった。

反復横跳とび

松原小	5月	3月	伸び率(%)	増加回数
4年生男子	28.89	31.35	108.52	2.46
4年生女子	28.21	33.69	119.41	5.48

全国	4年	5年	伸び率(%)	増加回数
男子	38.30	40.60	106.01	2.30
女子	36.89	38.73	104.99	1.84

効果検証（高槻市・松原市）

今年度、高槻市・松原市とともに授業改善及び、効果検証を行ってきた。どちらも授業の最初に10分程度の運動遊びや主となる運動につながる動きを取り入れ、継続して行ったことで、記録が向上し、それに伴い運動に対する児童の意欲の向上にもつながったという報告があった。

また、松原市の研修で

運動が楽しい→運動をする→体力が増進する→運動ができるようになる

→達成感を味わえる→さらに運動する→体力が増進する→運動が楽しい→……

というサイクルを学校全体でめざすきっかけとなったとあったが、教職員の意欲向上に向けても支援していき、次年度以降も継続して効果検証を重ねていきたい。

効果検証（全体）

令和5年12月にスポーツ庁から公表された「全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小学5年生・中学2年生）」の概要に「体力合計点については、令和4年度調査との比較では回復基調であるがコロナ以前の水準には至っていない。」と示されており、大阪府においても同様の傾向がみられる。

小学3・4年生の本調査においては、令和5年度より小学3・4年生による府独自のスポーツテスト（めっちゃ MORIMORI スポーツテスト）を開始し、抽出校（R1年～2年）やモデル事業参加校（R3年～4年）の平均値との比較になるため一概には言えないが、コロナ禍で体育授業の内容に制限がかけられていた状況や生活様式の変容における影響は残っており、体力低下が進んでいる状況である。しかしながら、体力合計点において全国よりも高い伸び率を示しており、4年生においては昨年度の4年生と比べて全国との体力合計点の差が1.00点縮小する等、取組みの成果が現れていると言える。

【同一集団】体力合計点の伸び率における府と全国の比較（※小数第3位以降四捨五入）

年度	学年	体力合計点(点)	伸び率(%)	
			伸び率(%)	上昇得点(点)
大阪府	R3	3年	41.76	
			112.25	5.12
	R4	4年	46.88	
			110.90	5.11
R5	5年	51.99		

年度	学年	体力合計点(点)	伸び率(%)	
			伸び率(%)	上昇得点(点)
全国	R3	3年	44.65	
			110.92	4.87
	R4	4年	49.52	
			107.91	3.92
R5	5年	53.44		

大阪府 > 全国
(+1.33)

大阪府 > 全国
(+2.99)

年度	学年	体力合計点(点)	伸び率(%)	
			伸び率(%)	上昇得点(点)
大阪府	R4	3年	41.24	
			112.63	5.21
	R5	4年	46.45	
			—	—
R6	5年	—		

今年度は比較対象なし

(参考)

3年生から4年生における全国の伸び率の平均（R1～R4）

111.97%

【同一学年】体力合計点の上昇値及び体力合計点における府と全国との差の比較(※小数第3位以降四捨五入)

府	学年	合計点(点)	上昇値(点)	全国との差(点)	前年度との差(点)
R3	3年	41.76	—	2.89	—
R4		41.24	-0.52	2.57	-0.32
R5		40.82	-0.42	—	—

全国	学年	合計点(点)	上昇値(点)
R3	3年	44.65	—
R4		43.81	-0.84
R5		—	—

3年生
0.32縮小

府	学年	合計点(点)	上昇値(点)	全国との差(点)	前年度との差(点)
R3	4年	46.81	—	3.64	—
R4		46.88	0.07	2.64	-1.00
R5		46.45	-0.43	—	—

全国	学年	合計点(点)	上昇値(点)
R3	4年	50.45	—
R4		49.52	-0.93
R5		—	—

4年生
1.00縮小

府	学年	合計点(点)	上昇値(点)	全国との差(点)	前年度との差(点)
R3	5年	52.20	—	1.38	—
R4		51.97	-0.23	1.33	-0.05
R5		51.99	0.02	1.45	0.12

全国	学年	合計点(点)	上昇値(点)
R3	5年	53.58	—
R4		53.30	-0.28
R5		53.44	0.14

5年生
0.12拡大

今後について

次年度以降、同一集団（令和6年度における小学4年生と5年生）における体力合計点の伸び率の比較と全国との差の比較を行うとともに、同一学年（令和6年度における小学3～5年生）の体力合計点の府と全国の比較、及び4年生と5年生については上昇値における全国との比較を継続して行っていく。

また、児童質問調査の結果から、児童に運動やスポーツをすることの楽しさを伝え、運動習慣の定着に努める必要があり、そのためには授業改善を進めることが必要不可欠であることから、以下の取組みを継続していく。

- (1) めっちゃMORIMORI スポーツテストシステムが円滑に活用できるようマニュアルの改訂を行い、児童に対する個別最適化された学習支援を進めていく。
- (2) 測定結果を踏まえ、アクションプランの内容が児童の実態に合致しているか等指導・助言を行い、PDCAサイクルを学校全体で回すことができるよう、好事例の発信を行うなどして、市町村教育委員会に対して課題に即した支援を行う。
- (3) 教員を対象とした実技研修の充実を図り、授業改善をめざす。